ニコンデジタルカメラ

COOLPIX L3

クールピクスL3

使用説明書

商標説明

- Microsoft® および Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh®、Mac OS®、QuickTime® は米国およびその他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Adobe および Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SD ロゴおよび PictBridge ロゴは商標です。
- D- ライティングは アピカル社の技術によるものです。
- 顔認識 AF は Identix®（アイデンティクス社）の技術によるものです。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

本文中のマークについて

✔	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
🖉	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
💡	カメラを使用する場合に、便利な情報を記載しています。

目次

はじめに

ニコンデジタルカメラ COOLPIX L3 をお買い上げくださいまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

このカメラには、この使用説明書のほか、以下の説明書が付属しています。これらの説明書もあわせてよくお読みください。

- **簡単操作ガイド**
  撮影の方法と、撮影した画像をパソコンに転送する手順を、簡単に説明しています。
- **PictureProject（ピクチャープロジェクト） ソフトウェア使用説明書（CD-ROM に収録）**
  付属のソフトウェア「PictureProject」の使用説明書です。
  撮影した画像をパソコンに転送できるほか、パソコン上で画像を調整したり、見やすく整理したりすることができます。

カスタマーサポート

下記アドレスのホームページで、サポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

表記について

- SD メモリーカードを「SD カード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。

この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。

電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービスセンターに修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。

⚠ 警告（カメラについて）

発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は 1m 以上離れてください。
保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
警告	**指定の電池または専用 AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
使用禁止	**AC アダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠ 注意（カメラについて）

感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源を OFF にしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。

使用注意	**飛行機内で使うときは、航空会社の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、飛行機の計器に影響を与えるおそれがあります。 病院で使う際も、病院の指示に従ってください。
禁止 プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池や AC アダプター）を外すこと** 電池の液漏れにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の場合には、AC アダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**付属の CD-ROM を音楽用 CD プレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼす場合があります。

⚠ 危険（リチウム電池、アルカリ電池、オキシライド電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告
（リチウム電池、アルカリ電池、
オキシライド電池について）

警告	**外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かない所に置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合はただちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠ 警告
（アルカリ電池、オキシライド電池について）

警告	**使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

使用禁止	**リチャージャブルバッテリー EN-MH1 は、COOLPIX 用 Ni-MH 電池 2 本を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池です** **この機器以外には使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用のチャージャーを使用して 2 本セットで同時に充電すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 危険（ニッケル水素電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠ 警告（ニッケル水素電池について）

危険	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービスセンターまたはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠ 注意（ニッケル水素電池について）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

ご確認ください

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、AC アダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故・故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●保証書とカスタマー登録カードについて

この製品には保証書とカスタマー登録カードが付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入後 1 年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

- カスタマー登録は下記の Web サイトからも行えます。

  https://reg.nikon-image.com

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、ニコンサービスセンターで新しい使用説明書をお求めください（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。
使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

●カメラやメモリーカードを譲渡／廃棄するときのご注意

メモリー (メモリーカード／カメラ内蔵メモリーを含む) 内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には消去されません。譲渡／廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡／廃棄する際は、市販のデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」(P.61) も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡／廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄する場合は、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

各部の名称

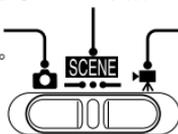
電源ランプ（P.8）
電源スイッチ（P.8）
スピーカー（P.32、37、39）
シャッターボタン（P.11）
セルフタイマーランプ（P.15）
内蔵フラッシュ（P.13）
マイク（P.32、36、38）
ストラップ取り付け部
レンズ（P.10）
レンズ収納時
レンズバリアー
電池室カバー（P.1）
電池室（P.1）
アダプターコード穴カバー（別売の AC アダプター接続時に使用；P.79）

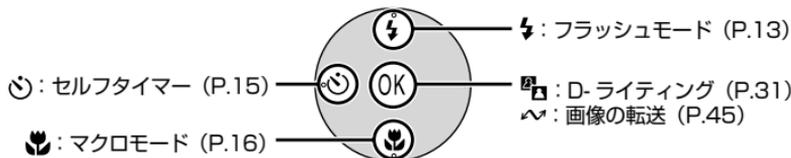
ストラップの取り付け方

液晶モニター（P.xii、8）
MENU（メニュー）ボタン（P.34、35、55、56）
ズームボタン（P.10）
：サムネイル表示［P.28］
：拡大［P.29］
：ヘルプ［P.xiv、57］
端子カバー（P.44、45、50）
ケーブル接続端子（P.44、45、50）
端子カバーの開閉
フラッシュランプ（P.13）
三脚ネジ穴
（再生）ボタン（P.12、27）
モードセレクター（P.8、17、36、38）
（削除）ボタン（P.12、28、32、37、41）
SD カードカバー（P.4）
マルチセレクター（P.xi、58）

モードセレクターの使い方

モードセレクターの中央を、使用したいモードに合わせます。

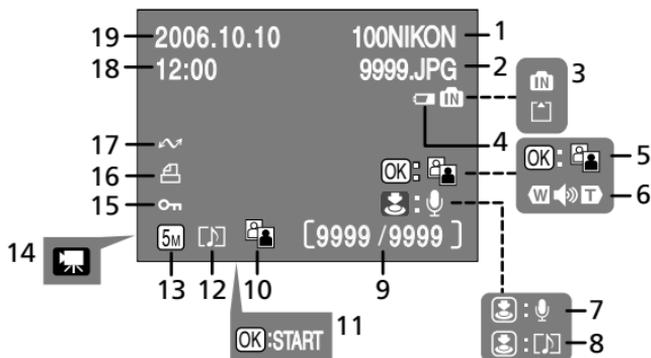
パーティーや夜景など 16 種類のシーンに応じた最適な設定で撮影できます。

マルチセレクターの使い方

上下左右のボタンで設定する項目や画像などを選び、中央のボタンで決定します。このほか、以下の機能の操作にも使います。

液晶モニターの表示内容

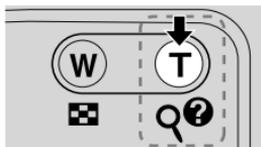
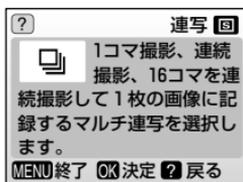
説明のため、すべての表示を点灯させています。

撮影時

1 撮影モード……8、17、36
2 AE-L 表示……26
3 マクロモード……16
4 ズーム表示……10、16
5 AF 表示……11
6 フラッシュモード……13
7 手ブレ警告……14
8 内蔵メモリー／ SD カード表示……4
9 バッテリーチェック……9
10 感度表示……14
11 セルフタイマー……15
12 時計マーク……83
ワールドタイム……61
13 デート写し込み……63
14 記録可能コマ数（静止画）……8
記録可能時間（動画）……36
15 AF エリア……8、11
16 露出補正値……72
17 画像モード……69
18 ピクチャーカラー……73
19 ホワイトバランス……70
20 BSS……73
21 連写モード……72

再生時

1	フォルダー名	92
2	ファイル名	92
3	内蔵メモリー／ SD カード表示	8
4	バッテリーチェック	9
5	D- ライティングガイド	31
6	音量	32、37、40
7	音声メモガイド（録音）	32
8	音声メモガイド（再生）	32
9	画像の番号／全画像数 動画の再生時間	37
10	D- ライティング済み表示	31
11	動画再生ガイド	37
12	音声メモ表示	32
13	画像モード	69、77
14	動画モード	37
15	プロテクト表示	76
16	プリント指定表示	53
17	転送マーク	47、76
18	撮影時刻	5
19	撮影日	5

ヘルプの表示

COOLPIX L3 では、操作に関する説明を液晶モニターに表示することができます。各メニュー画面で T（❓）ボタンを押すと、現在選択中の項目に関する説明が表示されます。

ヘルプ画面
（例：連写メニュー）

ヘルプ画面で OK を押すと、そのメニュー項目の設定画面に移ります。

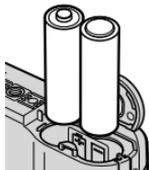
撮影の準備

電池を入れる

1

電池室カバーを開ける

- 電池室カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2

電池を入れる

- 電池室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。

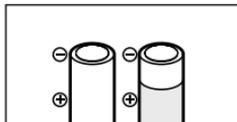
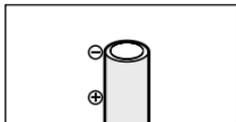
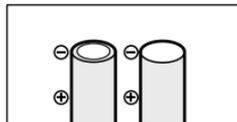
3

電池室カバーを閉じる

電池を取り出すときは

電源スイッチを押して電源を OFF にし、電源ランプが消灯していることを確認してから、電池を取り出してください。

電池についてのご注意

- このカメラにお使いいただける電池は、以下の通りです（いずれも単 3 形）。
  - ・アルカリ電池（LR6）（付属の電池）
  - ・リチャージャブルバッテリー EN-MH1（ニッケル水素電池）
  - ・オキシライド電池（ZR6）
  - ・リチウム電池（FR6/L91）
- リチャージャブルバッテリー EN-MH1 をご使用になる場合は、「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（P.vii ～ viii）の注意事項を必ずお守りください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、種類やメーカーの異なる電池を混ぜてお使いにならないでください。信頼できるメーカーの電池をお使いください。
- 「安全上のご注意」の「警告」、「危険」（P.vi ～ viii）や取り扱い上のご注意の注意事項を必ずお守りください。
- 以下のような電池はお使いにならないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部がふくらんでいて、外装シールが側面にしかない電池

マイナス電極が平らな電池

［重要］付属品以外の電池をお使いになるときは

アルカリ電池以外の電池をお使いになる場合は、電池の種類に合わせて、セットアップメニューの「**電池設定**」（P.67）を変更してください。電池の種類を正しく設定することで、電池を効率よく使うことができます。

使用可能な AC 電源について

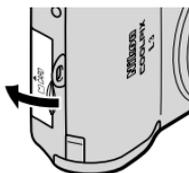
再生時やパソコンとの接続時などカメラを長時間ご使用になる場合は、別売の AC アダプターキット EH-65A をご使用ください。AC アダプターキットを使用すると、家庭用コンセント（AC100V）から COOLPIX L3 へ電源を供給することができます。EH-65A 以外の AC アダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

SD カード（市販品）を入れる

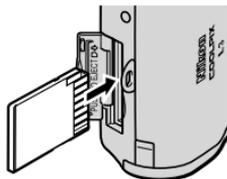
撮影した画像は、カメラの内蔵メモリー（約 23MB）、または市販の SD カード（P.79）のどちらかに記録することができます。

カメラに SD カードを入れると、撮影した画像の記録や再生、削除などの操作は、カード内の画像だけが対象になります。内蔵メモリーを使いたいときは、カードを取り出してください。

SD カードを使うための手順は、以下の通りです。

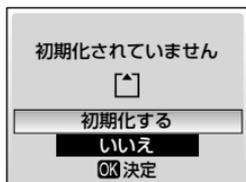
1

電源が OFF の状態であることを確認してから、SD カードカバーを開ける

- **SD カードを抜き差しするときは、必ず電源を OFF にしてください**

2

SD カードを入れる

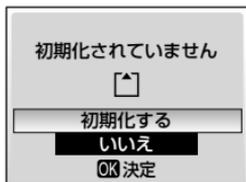
- 左図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、SD カードカバーを閉めてください。

3

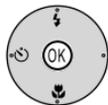
電源を ON にする

- 画面に記録可能コマ数などが表示された場合は、そのまま撮影できます。
- 左のように表示されたときは、SD カードを初期化する必要があります。次ページの「SD カードを初期化（フォーマット）する」へお進みください。

SD カードを初期化（フォーマット）する

SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。カード内に必要なデータが残っている場合は、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。

1

左の画面が表示されたら、マルチセレクターの上を押して「**初期化する**」を選ぶ

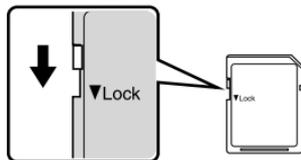
2

Ⓞ を押す

- 初期化が始まります。**初期化中は、電源を OFF にしたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。**
- 初期化が完了すると、撮影できます。

SD カードを取り出す

電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることを確認してから、SD カードカバーを開けてください。カードを奥に押し込むと、カードが押し出されるので、まっすぐ引き抜いて取り出してください。

✔ SD カードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SD カードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや消去が禁止され、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

表示言語と日時を設定する

はじめて電源を ON にすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。以下の手順で設定してください。

設定するときは、マルチセレクターを使います。以下の説明では、各ステップで操作するボタンは以下のように示しています。

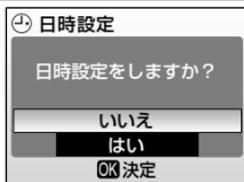
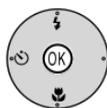
1

電源を ON にする

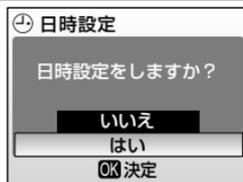
「言語選択」画面が表示されます。

2

表示言語を選ぶ

3

Ⓚ を押す

「日時設定」画面が表示されます。

4

「はい」を選ぶ

- 「いいえ」を選ぶと日時設定されません。

5

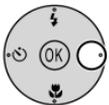
Ⓞ を押す

「ワールドタイム」画面が表示されます。

6

アルファベットの都市名表示を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いになる場合は、次ページの「夏時間についてのご注意」をご覧ください。

7

マルチセレクターの右を押す

「自宅の設定」画面が表示されます。

8

自宅のあるタイムゾーン（都市名）を選ぶ

9

Ⓞ を押す

「日時設定」画面が表示されます。

10

「年」を合わせる

11

マルチセレクターの右を押す

12

「月」を合わせる

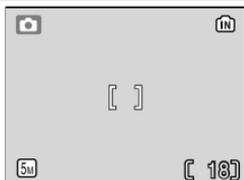
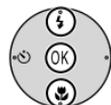
13

マルチセレクターの右を押す

14

ステップ 10、11 と同様の手順で日付と時刻も合わせて、マルチセレクターの右を押す

「年月日表示順」の設定画面が表示され、「年月日」が点滅します。

15

「年月日」の表示順を選んで ⓞⓚ を押す

設定が有効になり、モードセレクターで選んでいるモードの画面が表示されます。
撮影が可能になります。

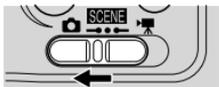
☑ 夏時間についてのご注意

夏時間（サマータイム）制が実施されている地域でお使いになる場合は、ステップ 6 の画面でマルチセレクターの下を押して「**夏時間**」を選び、ⓞⓚ を押してください。「**夏時間**」の前にあるチェックボックスがオン ☑ になり、時刻が 1 時間進みます。

簡単な撮影と再生

（オートモード）で撮影する—カメラまかせの簡単撮影

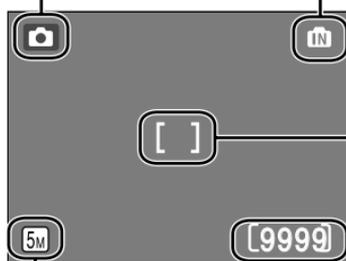
（オートモード）では、撮影状況に合わせて各機能が最適な状態に自動的に設定されるので、はじめてデジタルカメラをご使用になる方でも簡単に撮影することができます。

ステップ 1. モードセレクターを （オートモード）に合わせる

ステップ 2. 電源を ON にする

1

電源ランプと液晶モニターが点灯します。

オートモード
オートモードのときには が表示されます。

内蔵メモリー /SD カード表示
SD カードをセットしているときは が、セットしていないときは （内蔵メモリー）が表示されます。

画像モード
撮影目的に応じて、5 種類の画像サイズが選択できます。初期設定は （2592 × 1944）です（P.69）。

記録可能コマ数
記録可能コマ数は内蔵メモリーまたはセットしている SD カードのメモリー残量と画像モード（P.90）によって異なります。

2

電池残量と記録可能コマ数を確認する

バッテリーチェック

表示なし	電池は充分に残っています。
	電池が残り少なくなりました。 電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。電池を交換してください。

電源を OFF にするには

電源を OFF にするときは、電源スイッチを押してください。電源ランプが消灯していることをご確認ください。

節電モードとオートパワーオフ機能について

このカメラは電池の消耗を抑えるために、以下 3 種類の節電モードおよびオートパワーオフ機能を備えています。

電源 ON の状態で何も操作しないまま、

約 5 秒経過：液晶モニターが徐々に暗くなり、通常時の約 50 % の明るさになります。

約 1 分（初期設定）経過：液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。

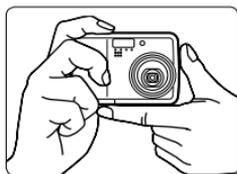
シャッターボタンを半押しすると (P.11)、電源 ON の状態に戻ります。

待機状態になるまでの時間は変更することもできます (P.65)。

待機状態に入ってから約 3 分経過：電源 OFF します。

1 枚の SD カードに記録できるコマ数：P.90

ステップ 3. カメラを構える

1

カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2

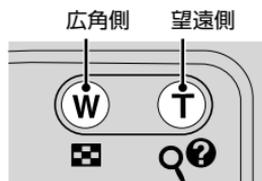
構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近にとらえてください。

簡単な撮影と再生

ズームの使い方

Ⓦ Ⓣ を押すと、光学ズームが作動して被写体の大きさを変えることができます。

- 広い範囲を写したいときは Ⓦ を、被写体を大きく写したいときは Ⓣ を押してください。
- 光学ズームをもっとも望遠側にして、さらに Ⓣ を約 2 秒以上押し続けると、電子ズームが作動し、光学ズームの最大倍率（約 3 倍）の約 4 倍（合計約 12 倍）まで拡大することができます。ただし、電子ズームは光学ズームとは違い、デジタル処理によって画像を拡大するため、粒子の粗い画像になります。

画面上部でズームの量を確認できます。電子ズームが作動すると、黄色に変わります。

ステップ 4. ピントを合わせて撮影する

1

シャッターボタンを半押し（下記 参照）する

- AF エリア（P.xii）の中央にある被写体に自動的にピントが合います。
- ピントが合うと、AF 表示が緑色に点灯します。AF 表示が赤色点滅した場合は、ピントが合っていません。構図を変えてもう一度ピントを合わせてください。

2

シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む

- シャッターがきれ、画像が記録されます。
- 暗い場所などではフラッシュランプが点灯しフラッシュが発光する場合があります。

画像の記録についてのご注意

画面に が表示されているときや、 または が点滅しているときは、画像の記録中です。SD カードや電池などを取り出さないでください。画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SD カードが壊れる場合があります。

シャッターボタンの半押し－フォーカスロック撮影

シャッターボタンを、軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、半押しを続けている間、そのピントと露出で固定（フォーカスロック）されます。そのまま深く押し込むと、シャッターがきれます。シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレ）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

ピントを合わせたい被写体にカメラを向ける

半押しする

AF 表示を確認する

半押ししたまま構図を変える

そのまま深く押し込む

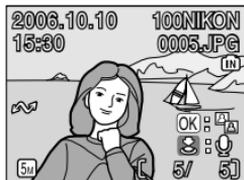
フォーカスロック撮影は、オートフォーカスが苦手な次のような被写体を撮影するのに便利です。

- 被写体が非常に暗い場合
- 画面内の輝度差が非常に大きい場合（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない場合（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）を撮影する場合
- 動きの速い被写体を撮影する場合

撮影した画像を確認する

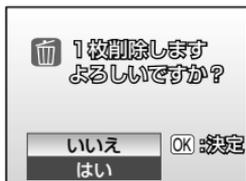
▶ を押す

撮影した画像が表示されます。

- マルチセレクターの左（または上）で前の画像を、右（または下）で次の画像を見ることができます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗くなる場合があります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ を押してください。

画像を削除する

1

削除したい画像を表示させて 🗑 を押す

削除確認画面が表示されます。

2

マルチセレクターの上下で「**はい**」を選んで Ⓞ を押す

- 削除するのをやめたいときは、「**いいえ**」を選んで Ⓞ を押してください。

簡単な撮影と再生

フラッシュの使い方

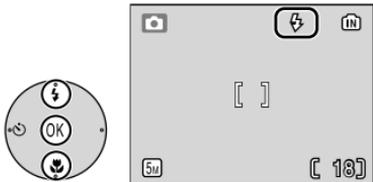
撮影状況に合わせて、フラッシュの発光モードを、以下の 5 種類から選ぶことができます。フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約 0.3 ～ 3m、望遠側で約 0.3 ～ 1.75m です。（オートモード）で設定した発光モードは、電源を OFF にしても記憶されます。

AUTO	自動発光	暗い場所などで、自動的にフラッシュが発光します。 AUTO は設定後、5 秒間表示され消灯します。
	赤目軽減自動発光	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます。詳しくは次ページの をご参照ください。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
	強制発光	被写体の明るさに関係なく、必ずフラッシュが発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ	夜景などの撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。

フラッシュモードの設定方法

1

フラッシュモードボタンを押す

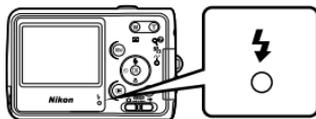
2

設定したいモードを選んで OK を押す

設定したフラッシュモードが表示されます。

- OK を押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

フラッシュランプについて

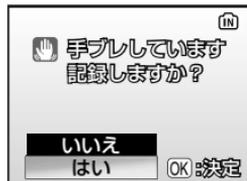
シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュの充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまう場合があります。このような場合は、フラッシュモードを ⓕ（発光禁止）にして撮影することをおすすめします。

暗い場所で撮影するときは

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときなど、シャッタースピードが遅くなるため手ブレしやすい状況では、

- 手ブレマーク が表示されます。
- 「ISO」と表示されたときは、感度が上がるため、通常よりもざらついた画像になることがあります。
- 撮影した画像が手ブレしている可能性が高いときは、右のような「手ブレお知らせ画面」が表示され、画像を記録するかどうかを選ぶことができます。
- 画像記録時に自動的にノイズ除去が行われる場合があります。この場合、画像の記録時間が、通常の約 2 倍以上になります。

赤目軽減自動発光について (P.13)

このカメラは「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。フラッシュが本発光の前に数回小量発光して赤目現象を軽減すると同時に、撮影した画像に赤目の部分がある場合は、カメラが自動的に補正します（この場合、画像の記録時間がやや長くなります）。ただし、以下のような場合は、他のフラッシュモードで撮影してください。

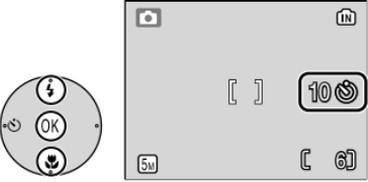
- シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 撮影状況によっては、望ましい結果が得られない場合があります。
- ごくまれに赤目以外の部分が補正される場合があります。

セルフタイマーの使い方

記念撮影など、自分も一緒に写りたいときは、セルフタイマーが便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚などでカメラを固定してください。

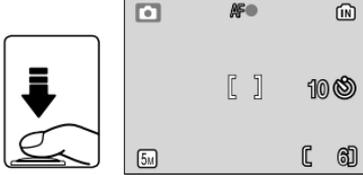
1

セルフタイマーボタンを押す

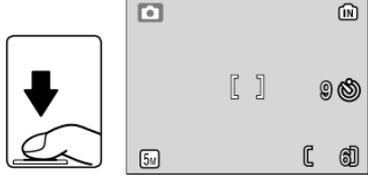
2

「ON」を選んで OK を押す

マークが表示されます。

- OK を押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

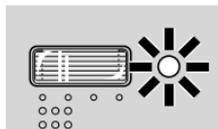
3

構図を決め、シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が合います。

4

そのままシャッターボタンを押し込む

セルフタイマーが作動し、約 10 秒後、自動的にシャッターがきれます。

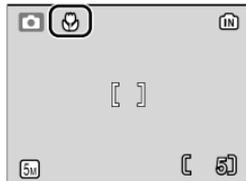
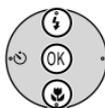
- シャッターがきれるまでの秒数が表示されます。
- セルフタイマーを途中で止めるには、もう一度シャッターボタンを押してください。

セルフタイマーが作動すると、セルフタイマーランプが点滅します。シャッターがきれる約 1 秒前になると、点灯に変わります。

マクロ（接写）モードの使い方

最短約 10cm まで被写体に近づいて撮影することができます。ただし、フラッシュ撮影時は、被写体から 30cm 以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らない場合がありますのでご注意ください。

1

マクロモードボタンを押す

2

「ON」を選んで OK を押す

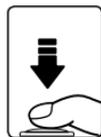
マークが表示されます。

- OK を押さないまま 5 秒以上経過すると、設定はキャンセルされます。

3

構図を決める

マークが緑色で表示されているときは、レンズ前約 10cm の被写体にピントを合わせることができます。

4

ピントを合わせて撮影する

マクロモードについて

マクロモードでは、シャッターボタンの半押しでフォーカスロックされるまで、カメラは常に AF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返します。

設定をいろいろ変更して撮影するには

（オートモード）では、ここまでに説明した内容に加え、記録する画像のサイズを変更したり、連写やホワイトバランスに関する設定を行うなど、撮影目的や状況に応じて、設定をいろいろと変更して撮影することもできます。詳しくは P.68 以降をご覧ください。

シーンに合わせて撮影する―シーンモード

シーンモードについて

撮影シーンが決まっているときは、シーンに合わせて以下の16 種類からシーンモードを選ぶだけの簡単な操作で、より美しく撮影できます。

アシスト機能付きシーンモード（4 種類）

画面に構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、撮影をお手伝いする「アシスト機能」が充実したモードです。

モード	内容
ポートレート	人物の撮影に
風景	風景の撮影に
スポーツ	運動会などのスポーツ写真に
夜景ポートレート	夜景をバックにした人物撮影に

その他のシーンモード（12 種類）

シーンを選び、シャッターボタンを押すだけで簡単に美しい画像が撮影できるモードです。

パーティー	夜景	モノクロコピー
海・雪	クローズアップ	逆光
夕焼け	ミュージアム	パノラマアシスト
トワイライト	打ち上げ花火	音声レコード

シーンモードでの画像モード設定

シーンモードのメニューで、マークを選ぶと、画像モード（P.69）を設定できます。

シーンモードの詳しい設定内容（フラッシュモード、マクロモードなど）: P.90

アシスト機能付きシーンモード

アシスト機能付きシーンモードでは、構図を決めるためのガイド線が表示されるなど、さまざまなアシスト機能が撮影のお手伝いをします。

アシスト機能付きシーンモードで撮影するには

1

モードセレクターを SCENE に合わせる

2

MENU を押す

3

シーンモードを選んで OK を押す

4

アシスト機能を選んで OK を押す

5

被写体をガイドに合わせて、撮影する

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

顔認識 AF	カメラが人物の顔を自動的に認識してピントを合わせます。詳しくは下記をご覧ください。
ポートレート	ガイドは表示されず、画面中央にピントが合います。
人物左	人物の上半身をやや左右に寄せて撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
人物右	
ウエストショット	人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
ツーショット	2 人並んだ人物の上半身を撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。
縦位置	人物を縦位置で撮影するときに使います。ガイド内にピントが合います。

「顔認識 AF」モードでの撮影方法

1

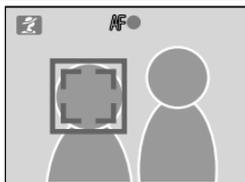
シーンモードの選択画面で 顔認識 AF を選んで OK を押す

2

マークの大きさを目安に、人物の顔をとらえる

カメラが顔を認識すると、マークが黄色の二重枠に変わります。※

※ 複数の顔を認識した場合は、最も近くにいる人の顔が二重枠で、他の顔が一重枠で示されます。この場合、二重枠で囲まれた人の顔にピントが合います。途中で被写体が横を向くなどしてカメラが被写体を見失った場合は、枠が消えてステップ 1 の状態に戻ります。

3

シャッターボタンを半押しする

ピントと露出が固定され、二重枠が緑色に変わります。

4

そのままシャッターボタンを押し込む

顔認識 AF モードについて

- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によって異なります。
- カメラは人物の顔を認識するまでピント合わせを繰り返します。
- 二重枠が黄色点滅している場合は、顔にピントが合っていません。もう一度ピントを合わせてください。
- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合、カメラは人物の顔を認識できません。
  - ・顔の一部がサングラスなどでさえぎられている。
  - ・構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている。

風景

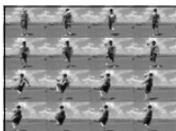
自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときや、風景をバックにした人物撮影に使います。

風景	ガイドは表示されず、遠景にピントが合います。※
山	遠くの山並みを撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※
建物	建物を撮影するときに使います。遠景にピントが合います。※
左背景	背景と人物を左右に配置した構図で撮影するときに使います。ガイド内の人物にピントと露出が合います。
右背景	

※ シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.11) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。このモードでは、ガイドは表示されません。

スポーツ	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、約 1.7 コマ／秒で連写できます。
スポーツ観戦	ズームの広角側で約 4.5m 以上、望遠側で約 6m 以上離れた被写体にピントが合うように、ピントが固定されます。 シャッターボタンを深く押し込んでいる間、「スポーツ」と同様に連写できます。
スポーツマルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと、約 8 コマ／秒で 16 コマの連続写真を撮影し、右のような 1 コマの画像（画像サイズ 1600 × 1200）として記録します。

- 「**スポーツ**」、「**スポーツマルチ連写**」のときは、シャッターボタンを押していないときも、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。アシスト機能は、「ポートレート」（P.19）と同様（ただし「**顔認識 AF**」はありません）です。このモードで撮影するときは、手ブレを防ぐため、三脚や安定した台などでカメラを固定してください。また、画像の記録時に自動的にノイズ除去（P.14）が行われる場合があります。

その他のシーンモード

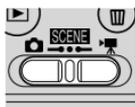
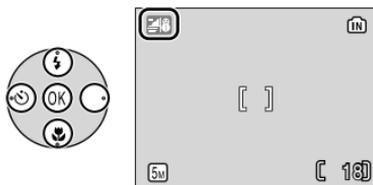
その他のシーンモードで撮影するには

1

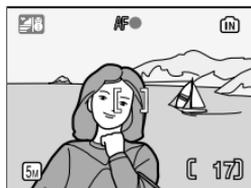
モードセレクターを SCENE に合わせる

2

MENU を押す

3

シーンモードを選んで OK を押す

4

構図を決めて撮影する

シーンモードの種類と特長

パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景をいかして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央にピントが合います。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。

夕焼け

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.11) が点灯します。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

トワイライト※

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.11) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

夜景※

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示 (P.11) が点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

クローズアップ

草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- シャッターボタンの半押しでピントが固定されるまで、カメラは常に画面中央にピントを合わせ続けます。
- 撮影方法はマクロモード (P.16) と同じです。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 「BSS」(P.73) が自動的に「ON」になります。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。

※ 画像の記録時に、自動的にノイズ除去 (P.14) が行われる場合があります。

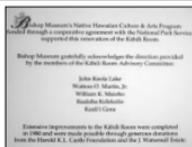
打ち上げ花火

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（P.11）が点灯します。ただし、ピントは遠景に固定されるため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 手ブレしやすいため、カメラを三脚などで固定して撮影することをおすすめします。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央にピントが合います。
- 近くのものを撮影するときは、マクロモード（P.16）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならず美しく撮影できます。

- 画面中央にピントが合います。

パノラマアシスト（P.25）

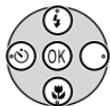
複数の画像をつなげて、パノラマ写真を合成したいときに使います。このモードで撮影した画像は、付属のソフトウェア「PictureProject」を使ってパノラマ写真を合成することができます。

音声レコード（P.38）

音声のみの録音／再生／コピーができます。内蔵メモリーには約 50 分、SD カード（256MB 以上）には最高約 5 時間の録音が可能です。

「パノラマアシスト」モード（P.24）での撮影方法

画面中央にピントが合います。三脚をお使いいただくと、構図を合わせやすくなります。

1

シーンモードの選択画面で、⌑ **パノラマアシスト**を選んで ⓞⓚ を押す

パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示す ▷ マークが黄色で表示されます。

2

マルチセレクターの上下左右でパノラマ方向を選んで ⓞⓚ を押す

選んだ方向に ▷ マークが移動し、ⓞⓚ を押すと白色に変わります。

- もう一度 ⓞⓚ を押すとパノラマ方向を選び直せます。
- パノラマ方向を選ばずに 1 コマ目を撮影すると、パノラマ方向は自動的に右方向に設定されます。

3

構図の端から、1 コマ目を撮影する

画面の 1/3 に、撮影した画像が表示されます。

4

2 コマ目以降を撮影する

- 前の絵柄に合うように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5

必要な画像を撮影し終わったら、Ⓞ を押す

ステップ 1 の状態に戻ります。

パノラマアシストモードについてのご注意

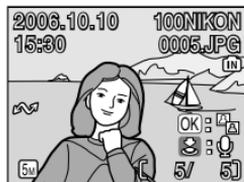
フラッシュモード (P.13)、セルフタイマー (P.15)、マクロモード (P.16) は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定を変えることはできません。画像モード (P.69) の変更やズーム操作、画像の削除もできません。

「AE-L」について

パノラマアシストモードでは、1 コマ目を撮影すると、画面に**「AE-L」**(白色) と表示されます。これは、露出とホワイトバランスがロック (固定) されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出とホワイトバランスのもとで撮影することができます。

再生機能を使いこなす

1 コマずつ再生する（1 コマ再生モード）

撮影時に ▶ を押すと、画像が 1 コマずつ再生される「1 コマ再生モード」になります。1 コマ再生モードでは、以下の操作ができます。

次の画像を見る		—
前の画像を見る		—
画像を削除する	🗑	P.28
画像を拡大する	T（🔍）	P.29
サムネイル表示モードに切り換える	W（▦）	P.28
再生メニューを表示する	MENU	P.56
音声メモを録音／再生する		P.32
静止画表示時：暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）	OK	P.31
動画表示時：動画を再生する		P.37
撮影に戻る	▶	P.12

画像の再生について

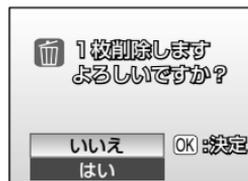
- 電源が OFF のときに ▶ を 1 秒以上押し続けると、1 コマ再生モードで電源を ON にすることができます。
- 内蔵メモリーに記録した画像を再生したいときは、SD カードをカメラから取り出してから、再生してください。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示モード）

1コマ再生モード（P.27）で W（▦）を押すと、画像を4コマまたは9コマずつ一覧できる「サムネイル表示モード」になります。サムネイル表示モードでは、以下の操作ができます。

画像を選ぶ	マルチセレクター	—
表示コマ数を切り換える	W（▦）／T（Q）	—
選択中の画像を削除する	🗑	—
1コマ再生モードに切り換える	OK	P.27
再生メニューを表示する	MENU	P.56
撮影に戻る	▶	P.12

画像を削除する

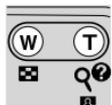
1コマ再生モードとサムネイル表示モードで 🗑 を押すと、右の画面が表示されます。「**はい**」を選んで OK を押すと、表示中または選択中の画像が削除されます。

画像を拡大する

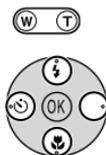
1コマ再生モード（P.27）で T（Q）を押すと、表示中の画像を最大約10倍まで拡大して表示できます。拡大中は、画面に拡大率が表示されます。拡大表示中には、以下の操作ができます。

拡大する	T（Q）	—
縮小する	W（⊞）	—
画面をスクロール（移動）させる	マルチセレクター	—
画像を削除する		P.28
再生メニューを表示する	MENU	P.56
1コマ再生モードに戻る	OK	P.27
画像の一部を切り抜く（トリミング）		P.30
撮影に戻る		P.12

画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（P.29）中に マークが表示されている画像は、トリミング（切り抜き）することができます。

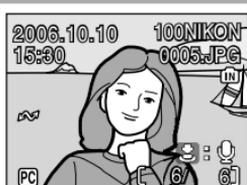
1

画像を拡大表示する

2

切り抜きたい部分が表示されるように、拡大率や表示範囲を調節する

3

シャッターを押す

確認画面が表示されます。

4

「はい」を選んで OK を押す

トリミング画像が作成されます。

- トリミングで作成された画像の画像サイズは、拡大倍率により異なります。次のうちから最適なものをカメラが自動的に選択します（単位：ピクセル）。
  - ・5M 2592 × 1944
  - ・3M 2048 × 1536
  - ・2M 1600 × 1200
  - ・1M 1280 × 960
  - ・PC 1024 × 768
  - ・TV 640 × 480
  - ・320 × 240
  - ・160 × 120
- トリミングで作成された画像は、元の画像とは別の画像として JPEG 形式で約 1/8 に圧縮して保存されます。

トリミング画像のファイル名：P.92
元画像とトリミング画像の関係：P.92

暗い部分を明るく補正する（D- ライティング）

１コマ再生モード（P.27）で OK:D-ライティング マークが表示されている画像は、画像の暗い部分だけを明るく補正することができます（D- ライティング）。逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正することができます。

1

1 コマ再生モード（P.27）で OK を押す

補正後の見本が表示されます。

2

「実行」を選んで OK を押す

補正画像が作成されます。

- D- ライティング画像は、元画像とは別の画像として保存されます。
- D- ライティングを行った画像は、再生時の画面で確認できます。

再生機能を使いこなす

D- ライティング画像のファイル名：P.92
元画像と D- ライティング画像の関係：P.92

画像に音声メモを付ける

1コマ再生モード（P.27）で [音声メモ] マークが表示されている画像には、カメラのマイク（P.x）を使って、音声によるメモを付けることができます。

録音する	（シャッターボタンを押す）	シャッターボタンを押している間、最長約20秒の音声メモを録音できます。シャッターボタンから指をはなすか、約20秒経過すると、録音が終了します。 • 録音中は ● REC が点滅します。
再生する	（シャッターボタンを押す）	[♪] が表示された画像の再生中にシャッターボタンを押すと、音声メモが再生されます。途中で停止したいときは、もう一度シャッターボタンを押します。
音量を変更する	Ⓦ Ⓣ	音声の再生中にズームボタンを押すと、音量の調節ができます。Ⓦ を押すと音量は小さくなり、Ⓣ を押すと音量は大きくなります。
音声メモを削除する	🗑	🗑 を押すと、削除確認画面が表示されます。「いいえ」、「[♪]」、「はい」のいずれかを選んで Ⓚ を押してください。 **いいえ**：画像と音声メモは削除されません。 [♪]：音声メモのみが削除されます。 **はい**：画像と音声メモが削除されます。

音声メモについてのご注意

- 音声メモの録音中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。この場合、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX L3以外のカメラで撮影した画像に対して、COOLPIX L3で音声メモを録音することはできません。また、COOLPIX L3以外のカメラで録音した音声メモを、COOLPIX L3で再生することはできません。

動画の種類を選択する

撮影する動画の種類を以下の 5 種類から選ぶことができます。

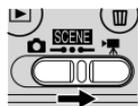
種類	内容	連続撮影記録時間※1	
		内蔵メモリー	SD カード
		約 23MB	256MB
TV 再生 640 ★	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。「TV 再生 640」と比べて、より動きのなめらかな動画を撮影できます。	21 秒※2	約 3 分 39 秒※2
TV 再生 640	カラーの動画を画像サイズ 640 × 480 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。	42 秒※2	約 7 分 15 秒※2
カメラ再生 320 ★	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、30 フレーム / 秒で撮影します。「カメラ再生 320」と比べて、より動きのなめらかな動画を撮影できます。	42 秒※2	約 7 分 15 秒※2
カメラ再生 320（初期設定）	カラーの動画を画像サイズ 320 × 240 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。	1 分 22 秒※2	約 14 分 16 秒※2
長時間再生 160	カラーの動画を画像サイズ 160 × 120 ピクセル、15 フレーム / 秒で撮影します。画像サイズが小さいため、他の動画と比べて、より長時間の撮影が可能となります。	4 分 33 秒※2	約 47 分 8 秒※2

※ 1 記載されている連続撮影記録時間はおおよその目安です。同じ容量でも SD カードの種類によって連続撮影記録時間は異なります。

※ 2 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなるまで連続して撮影できます。

動画のファイル名とフォルダー名について：P.92

動画設定を選択する

1

モードセレクターを 🎥 に合わせる

記録できる時間が表示されます。

2

MENU を押す

動画メニューが表示されます。

3

動画設定を選んで ㊊ を押す

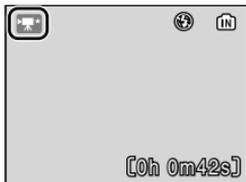
動画モードが一覧表示されます。

4

設定したいモードを選んで ㊊ を押す

選んだモードが有効になります。

- 設定をキャンセルする場合は、MENU を押してください。

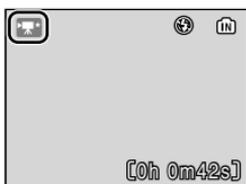
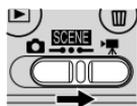
5

MENU を押す

撮影画面に戻り、液晶モニターに設定したモードのアイコンが表示されます。

AF-MODE を設定する

動画メニューではオートフォーカスの方法（AF-MODE）を以下の 2 種類から選ぶことができます。

シングル AF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押し中はピントを固定（AF ロック）します。撮影を開始すると、シャッターボタンを押し込んだときのピントに固定され、撮影中はピント合わせを行いません。
常時 AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になる場合は、シングル AF に設定して撮影することをおすすめします。

1

モードセレクターを に合わせる

2

MENU を押す

動画メニューが表示されます。

3

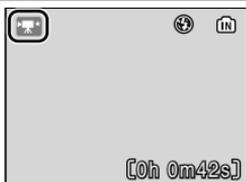
AF-MODE を選んで OK を押す

AF-MODE が一覧表示されます。

4

設定したいモードを選んで OK を押す

選んだモードが有効になります。

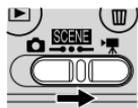
5

MENU を押す

撮影画面に戻ります。

動画を撮影する

音声付きの動画を撮影する方法は以下の通りです。

1

モードセレクターを 🎥 に合わせる

記録できる時間が表示されます。

2

シャッターボタンを押して、撮影を開始する

画面下部で、記録できる残り時間の目安を確認できます。

3

シャッターボタンを押して、撮影を終了する

- 内蔵メモリーまたは SD カードの残量がなくなると、撮影は自動的に終了します。

動画撮影についてのご注意

- 動画モードでは、フラッシュモード (P.13)、セルフタイマー (P.15) は設定できません。マクロモード (P.16) は「**ON**」にできます。
- 動画撮影中、電子ズームは 2 倍まで作動しますが、光学ズームは使用できません。光学ズームを使用したい場合は、撮影前に操作してください。撮影を始めると、光学ズーム位置は固定されます。

1 枚の SD カードで動画を記録できる時間：P.91

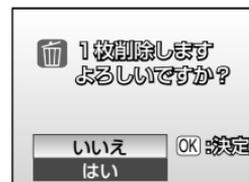
動画を再生する

1コマ再生モード（P.27）で 🎥 マークが表示されている画像が動画です。Ⓞⓚ を押すと、再生することができます。

動画の再生中は、Ⓦ Ⓣ で音量を調節できます。また、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの左右で、アイコンを選んでください。選ばれているアイコンによって以下のように操作を実行します。

巻き戻し	◀◀	Ⓞⓚ を押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	Ⓞⓚ を押している間、早送りします。	
一時停止	❚❚	Ⓞⓚ を押すと、一時停止します。 一時停止中には、以下の操作ができます。	
		◀❚❚	Ⓞⓚ を押すと、1コマ戻ります。
		❚❚▶	Ⓞⓚ を押すと、1コマ進みます。
		▶	Ⓞⓚ を押すと、再生を再開します。
		■	Ⓞⓚ を押すと、1コマ再生モードに戻ります。
再生終了	■	Ⓞⓚ を押すと、1コマ再生モードに戻ります。	

動画ファイルを削除する

動画の再生中、または1コマ再生モード（P.27）やサムネイル再生モード（P.28）で動画を表示しているときに 🗑 を押すと、削除確認画面が表示されます。「はい」を選んで Ⓞⓚ を押すと、動画ファイルが削除されます。「いいえ」を選んで Ⓞⓚ を押すと、動画ファイルを削除せずに再生画面に戻ります。

音声のみを録音する / 再生する—音声レコード

音声のみを録音する

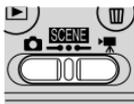
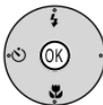
内蔵メモリーまたは SD カードに音声のみを録音することができます。内蔵メモリーには約 50 分、SD カード (256MB) には最長約 5 時間録音できます。

1

モードセレクターを SCENE に合わせる

2

MENU を押す

3

4

OK を押す

日時および録音可能な時間が表示されます。

5

シャッターボタンを押して録音を開始する

- 音声の録音中は液晶モニターが消灯します。
- 録音を一時停止したいときは OK を押し、もう一度押すと再開します。

6 シャッターボタンを押して、録音を終了する

- 内蔵メモリー／ SD カードの記録容量がなくなった場合または 5 時間経過すると、録音は自動的に終了します。

音声レコードについてのご注意

- 音声の録音中はカメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 内蔵メモリ /SD カードに 10 秒以上録音できる容量がない場合や、電池の容量が少ない場合には、表示された録音可能時間いっぱいまで録音できないことがあります。ただし、終了するまでに録音された音声データは記録されます。
- 長時間音声を録音する場合は、別売の AC アダプターキット EH-65A（P.79）のご使用をおすすめします。
- 音声を録音する前に試し録音を行い、録音状態を確認することをおすすめします。

インデックス

録音中にマルチセレクターの上下左右のいずれかを押すと、インデックスが付けられます。インデックスを付けると、カメラで音声を再生するときに頭出しをすることができます。インデックスナンバーは録音の開始時点を 1 とし、マルチセレクターを押すたびに連番で記録されます。インデックスは最大で 98 個まで付けることができます。

インデックスナンバーは音声レコード画面で確認することができます。

音声を再生する

1

シーンモードの選択画面で 音声レコードを選んで Ⓚ を押す

音声レコード画面が表示されます。

2

▶ を押す

保存されている音声データが一覧で表示されます。

- 音声データの一覧表示中に ▶ ボタンを押すと、音声レコード画面に戻ります。

再生したい音声データを選んで ⓞⓚ を押す

音声データ再生画面が表示され、再生が始まります。

- インデックスマークは、録音時に付けたインデックスの場所を示します。

音声データ再生中は、Ⓦ Ⓣ で音量を調節できます。また、画面上部に操作パネルが表示されます。マルチセレクターの左右でアイコンを選んでください。選ばれているアイコンによって以下のように操作を実行します。

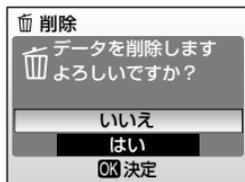
機能	アイコン	内容
一時停止	⏸	ⓞⓚ を押すと、再生を一時停止します。
再生再開	▶	ⓞⓚ を押すと、再生を再開します。
巻き戻し	⏪	ⓞⓚ を押し続けると、音声を巻き戻します。
早送り	⏩	ⓞⓚ を押し続けると、音声を早送りします。最後まで早送りすると再生が終了し、音声データの一覧画面に戻ります。
前のインデックスに戻る	⏮	ⓞⓚ を押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスに進む	⏭	ⓞⓚ を押すと、次のインデックスに進みます。
再生終了	■	ⓞⓚ を押すと、音声の再生を終了し、音声データの一覧画面に戻ります。

音声データをパソコンに保存する際のご注意

音声レコード機能により録音された音声データ（.WAV）は、付属のソフトウェア「PictureProject」ではパソコンに転送できません。セットアップメニューの「インターフェース」→「USB」を「Mass Storage」に設定して、直接パソコンにコピーしてください（P.67）。

パソコンに保存された音声データ（.WAV）は、WAV ファイル対応のプレーヤー（QuickTime など）で再生することができます。「PictureProject」では再生できません。ただし、音声録音中に付けたインデックスはカメラで再生する場合のみ使用できます。パソコンで再生する場合はインデックスなしの音声データとなります。

音声データを削除する

音声の再生中に 🗑 を押すか、一覧表示中にマルチセレクターの上下で、削除したいファイルを選んで 🗑 を押すと削除確認画面が表示されます。「はい」を選んで Ⓞ を押すと、音声データが削除されます。「いいえ」を選んで Ⓞ を押すと、音声データを削除せずに再生画面に戻ります。

音声データをコピーする

内蔵メモリーの音声を SD カードに、SD カードの音声を内蔵メモリーにコピーすることができます。この操作は、SD カードを挿入したときのみ行えます。音声データコピーを行う際は、まず「音声を再生する」（P.39）の手順 1 を行い、音声レコード画面を表示させてください。

1

音声レコード画面で ▶ を押す

「音声データ選択」画面が表示されます。

2

MENU を押す

「音声データコピー」画面が表示されます。

3

コピーの方向※を選んで Ⓞ を押す

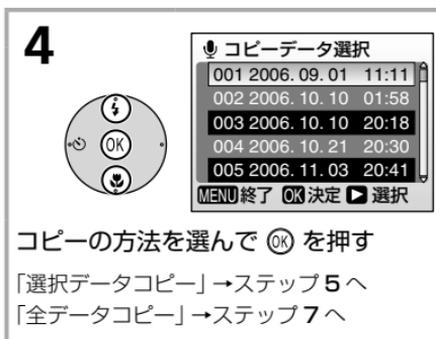
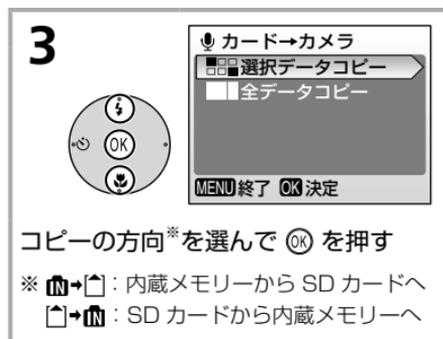
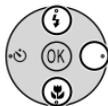
※ IN→SD：内蔵メモリーから SD カードへ
SD→IN：SD カードから内蔵メモリーへ

4

コピーの方法を選んで Ⓞ を押す

「選択データコピー」→ステップ **5** へ
「全データコピー」→ステップ **7** へ

5

コピーデータ選択
001 2006. 09. 01 11:11
✓002 2006. 10. 10 01:58
003 2006. 10. 10 20:18
✓004 2006. 10. 21 20:30
✓005 2006. 11. 03 20:41
MENU 終了 OK 決定 ▶ 選択

コピーしたい音声データを選んでマルチセレクターの右を押す

設定された音声データには ☑ がつきます。

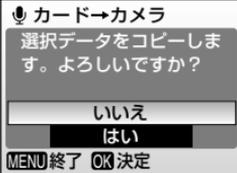
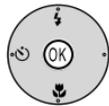
- 設定を取り消すときは、取り消したい音声データを選んで、もう一度マルチセレクターの右を押します。
- この操作を繰り返してコピーする音声データを設定します。

6

カード→カメラ
選択データをコピーします。よろしいですか？
いいえ
はい
MENU 終了 OK 決定

Ⓞ を押す

7

「はい」を選んで Ⓞ を押す

コピーが実行されます。キャンセルする場合は「いいえ」を選んで Ⓞ を押してください。

音声データコピーについてのご注意

- コピー先のメモリー容量が足りない場合には、「メモリー残量がありません」(P.83) というメッセージが表示されます。不要な画像や音声を削除したり、新しい SD カードに交換する（コピー先が SD カードの場合）などの対処をしてから音声データコピーを行ってください。
- 他社製のカメラで録音した音声データやパソコンで編集した音声データのコピーは、動作保証外です。

テレビやパソコン、プリンターに接続する

撮影した画像は、カメラで再生するだけでなく、以下のような方法で楽しむことができます。

- テレビで画像を見る・動画をビデオに録画する
- パソコンに転送して整理・加工する
- プリンターでプリント（印刷）する
- プリントサービス店にプリントを依頼する

この章では、テレビに接続する方法（P.44）、パソコンに接続する方法（P.45）、プリンターと接続する方法（P.49）について説明します。カメラをこれらの機器と接続するときは、セットアップメニューの「**インターフェース**」の設定変更が必要な場合があります。セットアップメニューの表示方法や操作方法については、P.55 をご覧ください。

テレビやパソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電池が切れることがないように、別売の AC アダプターキット EH-65A をお使いいただくことをおすすめします。

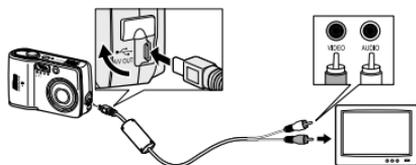
テレビに接続する

1

お使いのテレビに合わせて（下記 参照）、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**ビデオ出力**」（P.67）を設定する

- メニューの操作方法については、P.55 をご覧ください。

2 カメラの電源を OFF にして、付属の AV ケーブルを接続する

- AV ケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4

▶ を 1 秒以上押す

カメラの電源が ON になり、撮影した画像がテレビに表示されます。

- カメラの液晶モニターは消灯したままです。

ビデオ出力について

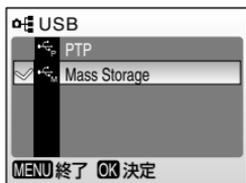
「**ビデオ出力**」メニューの「**NTSC**」と「**PAL**」はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本では NTSC 方式が、欧州では PAL 方式が主流です。

パソコンに接続する

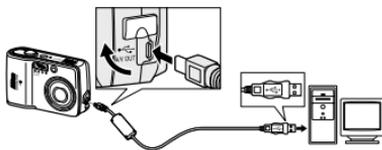
画像をパソコンに転送して保存するには、付属のソフトウェア「PictureProject」をパソコンにインストールする必要があります。インストールの方法や画像の転送方法については、簡単操作ガイドやPictureProject ソフトウェア使用説明書 CD-ROM（銀色）をご覧ください。

「USB」の設定をして、パソコンに画像を転送する

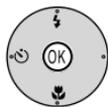
1 PictureProject がインストールされたパソコンを起動する

2

パソコンの OS に合わせて（P.46）、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」（P.67）を設定する

- メニューの操作方法については、P.55 をご覧ください。

3 カメラの電源を OFF にして、付属の USB ケーブルでカメラとパソコンを接続する

4

カメラの電源を ON にする

5

Ⓞ を押す

- 転送が始まります。転送マーク（P.47）が付いている画像が、パソコンに転送され、PictureProject に表示されます。
- カメラには以下のように表示されます。

6

転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

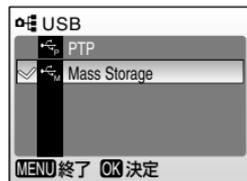
- 詳しくは P.48 をご覧ください。

PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送するには

PictureProject の［転送］ボタンで画像を転送することもできます。ステップ 5 で、Ⓞ を押す代わりに、PictureProject の［転送］ボタンを押してください。転送マークの有無にかかわらず、すべての画像をパソコンに転送することができます。

［転送］ボタン

セットアップメニュー「インターフェース」→「USB」の設定について

パソコンの OS に合わせて、セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」（P.67）で、USB 通信方式を以下のように設定してください。初期設定は「**Mass Storage**」です。

パソコンの OS	Ⓞ で転送するとき※	PictureProject の［転送］ボタンで転送するとき
Windows XP Home Edition Windows XP Professional Windows 2000 Professional Windows Millennium Edition (Me) Windows 98 Second Edition (SE)	Mass Storage	
Mac OS X（10.1.5 以降）	PTP	PTP または Mass Storage

※ 次の場合、カメラの Ⓞ（転送 ）は使用できません。PictureProject の「転送」ボタンで転送してください。

- 内蔵メモリーを使用し、「USB」の設定を「Mass Storage」にしている場合
- SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」の位置になっている場合（「Lock」を解除するとカメラの Ⓚ（転送 ）を使用できます。）

Windows 2000 Professional、Windows Me、Windows 98 SE をお使いの方へのご注意

USB 通信方式は必ず「**Mass Storage**」にしてください。誤って「**PTP**」にしてパソコンと接続した場合は、以下の要領で接続を外してください。

Windows 2000 Professional の場合：

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

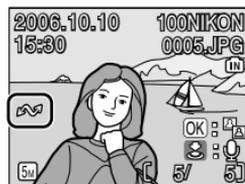
Windows Me の場合：

「ハードウェア情報データベースの更新」の後に「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

Windows 98 SE の場合：

「新しいハードウェアの追加ウィザード」と表示されるので、「キャンセル（中止）」を選んで画面を閉じてから、パソコンとカメラの接続を外してください。

転送マーク（）について

再生時に マークが付いている画像は、パソコンとの接続時に Ⓚ を押すと、パソコンに転送されます。初期設定ではすべての画像に転送マークが付くようになっています。転送マークを付けたり外したりするには、以下の 2 通りの方法があります。

セットアップメニューの「インターフェース」→「転送設定」（P.67）	**これから撮影する画像すべて**を対象に、転送マークを付けるかどうかを設定します。
再生メニューの「転送マーク設定」（P.76）	**撮影済みの画像**を対象に、個別に転送マークを付けたり外したりできます。

カメラとパソコンの接続を外す

- **USB 通信方式が「PTP」の場合：**カメラの電源を OFF にして、USB ケーブルを抜いてください。

- **USB 通信方式が「Mass Storage」の場合：**USB ケーブルを外したり、カメラの電源を OFF にしたりする前に、必ず次の操作を行ってください。

  - Windows XP Home Edition/Windows XP Professional の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス—ドライブ (E:) ※を安全に取り外します」を選んでください。

  - Windows 2000 Professional の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外しまたは取り出し」アイコンをクリックして、「USB 大容量記憶装置デバイス—ドライブ (E:) ※を停止します」を選んでください。

  - Windows Me の場合：

    パソコン画面右下の「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックして、「USB ディスク—ドライブ (E:) ※の停止」を選んでください。

  - Windows 98 SE の場合：

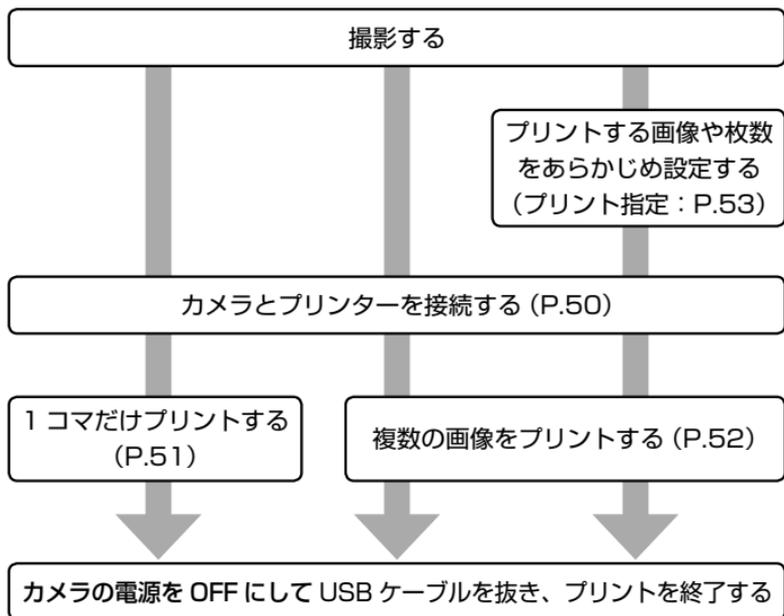
    マイコンピュータの中の「リムーバブルディスク」上でマウスを右クリックして「取り出し」を選んでください。

※ ドライブ (E:) の「E」は、お使いのパソコンの環境によって異なります。

  - Mac OS X の場合：

    デスクトップ上の「NO NAME」アイコンをゴミ箱に捨ててください。

プリンターに接続する

PictBridge（P.93）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントすることができます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、以下の通りです。

撮影した画像は、このほか以下のような方法でもプリントできます

1.SD カードをプリンターのカードスロットに挿入してプリントする

プリンターの使用説明書をご覧ください。DPOF（P.93）対応プリンターなら、事前に「**プリント指定**」（P.53）を行い、指定通りにプリントすることもできます。

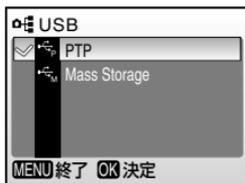
2.SD カードをプリントサービス店に持ち込んでプリントを依頼する

事前に「**プリント指定**」を行った場合は、DPOF 対応のプリントサービス店にお持ちください。

3. 画像をパソコンに転送してからプリントする

パソコンへの転送方法については P.45 をご覧ください。パソコンでのプリント方法はお使いになるソフトウェアやプリンターの使用説明書をご覧ください。

カメラとプリンターを接続する

1

セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」(P.67) を「**PTP**」にする

- メニューの操作方法については、P.55 をご覧ください。

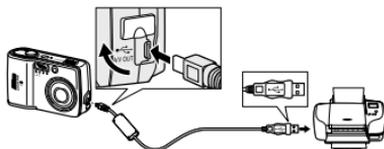
2

カメラの電源を OFF にする

3

プリンターの電源を ON にする

4

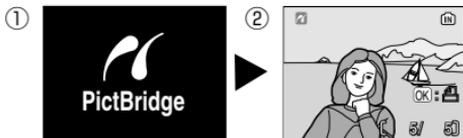
付属の USB ケーブルで、カメラとプリンターを接続する

5

カメラの電源を ON にする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、ダイレクトプリントのトップ画面（②）が表示されます。

①

②

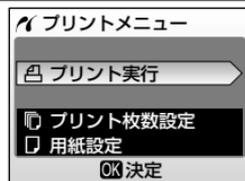
テレビやパソコン、プリンターに接続する

1 コマだけプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.50)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.50) で、プリントしたい画像を選ぶ

W (▦) を押して、6 コマ表示に切り換えて画像を選ぶこともできます。T (Q) を押すと、1 コマ表示に戻ります。

2

OK を押す

「プリントメニュー」画面が表示されます。

3

プリント枚数や用紙サイズを設定し、プリントを実行する

マルチセレクターの上下で各項目を選んでから OK を押すと、それぞれの画面に移ります。

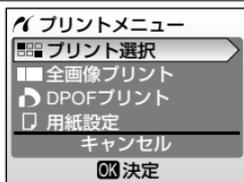
プリント実行	OK を押すと、プリントが始まります • プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。 • プリントを途中で中止したいときは、OK を押してください。
プリント枚数設定	マルチセレクターの上下でプリント枚数 (9 枚まで) を設定し、OK を押してください。
用紙設定	マルチセレクターの上下でプリントする用紙のサイズを選び、OK を押してください。

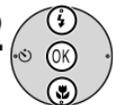
用紙設定についてのご注意

用紙設定画面では、「**プリンターの設定**」以外に、「**L サイズ**」、「**2L サイズ**」、「**ハガキ**」、「**100 × 150mm**」、「**4 × 6 - in**」、「**8 × 10 - in**」、「**Letter**」、「**A3 サイズ**」、「**A4 サイズ**」のうち、プリンターが対応している用紙サイズが表示されます。プリンターの設定を優先したいときは、「**プリンターの設定**」を選んでください。

複数の画像をプリントする

あらかじめカメラとプリンターを正しく接続してから (P.50)、以下の手順でプリントしてください。

1

ダイレクトプリントのトップ画面 (P.50) で、MENU を押す

「プリントメニュー」画面が表示されます。

2 プリントする画像や用紙サイズ、プリント方法を設定する

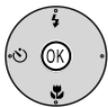
マルチセレクターの上下で各項目を選んで OK を押すと、それぞれの画面に移ります。

プリント選択	OK を押すとプリントする画像の選択画面に移ります。ステップ 3 にお進みください。
全画像プリント	OK を押すとすべての画像がプリントされます。プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
DPOF プリント	OK を押すと「DPOF プリント」画面が表示されます。マルチセレクターの上下で「**プリント実行**」を選んで OK を押すと、「**プリント指定**」(P.53) で指定した画像がプリントされます。「**画像の確認**」を選んで OK を押すと、確認画面が表示されます。ステップ 5 にお進みください。 (画面: DPOFプリント / 005枚プリント / プリント実行 / 画像の確認 / キャンセル / OK 決定)
用紙設定	P.51 のステップ 3 と同じです。

3

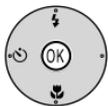
プリントする画像と、それぞれのプリント枚数 (9 枚まで) を設定する

- プリントされる画像には、プリントマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、プリントマークが消え、その画像はプリントされません。
- マルチセレクターの左右で画像を選び、上下でプリント枚数を設定します。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。

4

Ⓚ を押す

確認画面が表示されます。

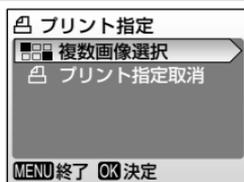
- 画像を選び直したいときは、MENU を押してください。ステップ 3 の画面に戻ります。

5

Ⓚ を押す

- プリントが終わると、ステップ 1 の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚ を押してください。

プリントする画像や枚数をあらかじめ設定する（プリント指定）

DPOF（P.93）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントするときは、どの画像を何枚プリントするかを、あらかじめ指定することができます。撮影日時や撮影情報（シャッタースピードと絞り値）をプリントすることもできます。

1

再生メニューで（P.74）で 凸 プリント指定を選んで Ⓚ を押す

「プリント指定」画面が表示されます。

2

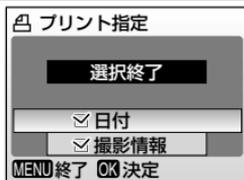
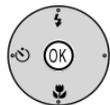
「複数画像選択」を選んで Ⓚ を押す

「プリント指定取消」を選んで Ⓚ を押すと、すべての画像に対するプリント指定が取り消されます。

3

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（9 枚まで）を設定する

- マルチセレクターの左右で画像を選び、上下でプリント枚数を設定します。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。
- プリントされる画像には、マークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、マークが消え、その画像はプリントされません。

4

OK を押す

- マルチセレクターの上下で「日付」を選んで OK を押すと、撮影日が印字されます。
- 「撮影情報」を選んで OK を押すと、すべての画像に撮影情報が印字されます。
- 「選択終了」を選んで OK を押すと、設定が有効になります。

「**プリント指定**」を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

日付プリントについて

撮影日時入りの画像をプリントする方法は、2 通りあります。

- 「**プリント指定**」の「**日付**」設定を ON にする。
- セットアップメニューの「**デート写し込み**」のチェックボックスをオン ☑ にする（P.63）。

	プリント指定	デート写し込み
日付プリントの条件	DPOF 対応プリンターが必要	プリンターの種類に関係なく、常に日付プリントが可能
日付プリントの ON/OFF	プリントのたびに変更可能	日付が画像に直接写し込まれるため、撮影後の変更は不可

「**デート写し込み**」で日付を写し込んだ画像には、「**プリント指定**」による日付プリントはできません。

☑ プリント指定についてのご注意

- プリント指定を行った後、再び「**プリント指定**」メニューを表示すると、「**日付**」と「**撮影情報**」の設定はリセットされますのでご注意ください。
- ダイレクトプリント時には、「**撮影情報**」は印字されません。

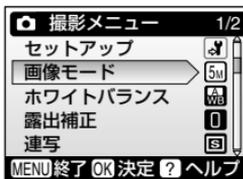
メニューの操作方法

カメラの基本設定や撮影、再生、動画に関する設定を行うには、おもにメニューを使います。メニューには、**セットアップ**（カメラに関する基本設定）、**撮影**、**再生**、**動画**の４種類があります。

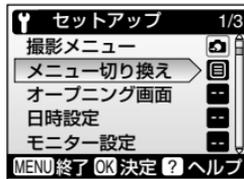
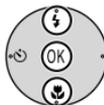
メニューを表示する

セットアップメニューの表示方法

- 現在の状態が （オートモード）、SCENE（シーンモード）、（動画モード）の場合

1

MENU を押す

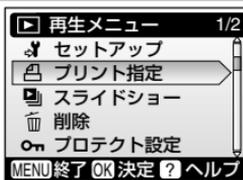
モードセレクターに対応したメニューが表示されます。

2

セットアップを選んで OK を押す

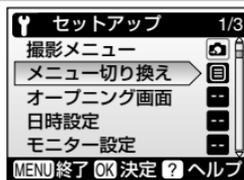
セットアップメニューが表示されます。

- 操作方法については、引き続き P.58 をご覧ください。
- メニュー画面を終了して撮影画面に戻るには、MENU を押してください。

- 現在の状態が 再生モードの場合

1

MENU を押す

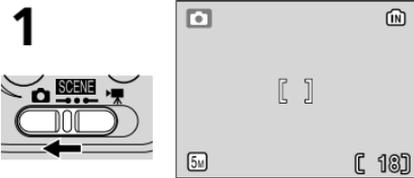
再生メニューが表示されます。

2

セットアップを選んで OK を押す

セットアップメニューが表示されます。

- 操作方法については、引き続き P.58 をご覧ください。
- メニュー画面を終了して撮影画面に戻るには、MENU を押してください。

撮影メニューの表示方法

1

モードセレクターを [撮影] に合わせる

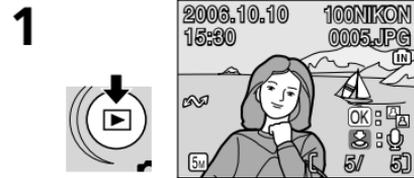
2

MENU を押す

撮影メニューが表示されます。

- 操作方法については、引き続き P.58 をご覧ください。
- メニュー画面を終了して撮影画面に戻るには、MENU を押してください。

再生メニューの表示方法

1

[再生] を押す

液晶モニターに再生画面が表示されます。

2

MENU を押す

再生中の画像に応じた再生メニューが表示されます。

- 操作方法については、引き続き P.58 をご覧ください。
- メニュー画面を終了して再生画面に戻るには、MENU を押してください。

動画メニューの表示方法

動画メニューの表示方法やメニュー項目については、P.33 〜 35 で詳しく説明しています。

メニュー項目のヘルプを表示するには

メニューを表示しているときに T (?) を押すと、現在選択中のメニュー項目に関するヘルプ画面 (P.xiv) が表示されます。

- OK を押すと、そのメニュー項目の設定画面に移ります。
- 元の画面に戻るには、もう一度 T (?) を押してください。
- MENU を押すと、撮影または再生画面に戻ります。

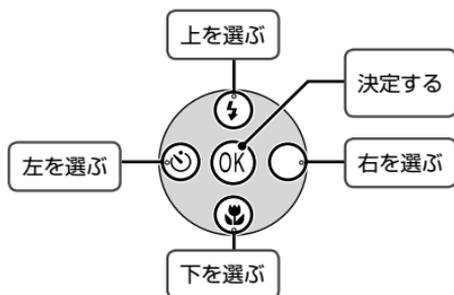
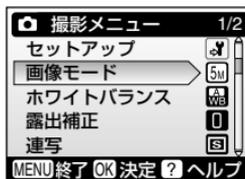
メニューをアイコン表示するには

セットアップメニューで**メニュー切り換え**を**アイコンタイプ**に設定すると、メニューの全項目を 1 画面にアイコンのみで表示することができます。

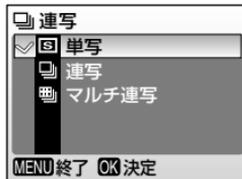
初期設定に戻すには

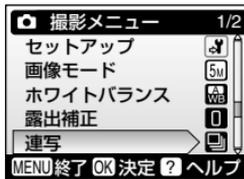
設定した内容を初期設定に戻すには、セットアップメニューの**設定クリアー**を行ってください (P.67)。

メニュー項目を設定する

メニューを操作するときは、マルチセレクターを使います。

1

設定したい項目が含まれるメニューを表示する

例：「連写」を設定する場合

2

マルチセレクターの上下で設定したい項目を選んで ⓞⓚ を押す

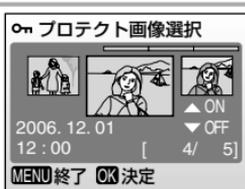
3

マルチセレクターの上下で設定したい内容を選んで ⓞⓚ を押す

設定が有効になります。

各メニューの初期設定：P.89

画像選択画面の操作方法

再生メニューの「**プリント指定**」(P.53)、「**削除**」(P.76)、「**プロテクト設定**」(P.76)、「**転送マーク設定**」(P.76)、「**画像コピー**」(P.78) では、設定の対象となる画像を選ぶと、右のような画面が表示されます。この「画像選択画面」の操作方法は以下の通りです。

1

マルチセレクターの左右で画像を選ぶ

選択中の画像が、中央に大きく表示されます。

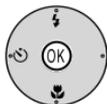
例：プロテクト設定する場合

2

マルチセレクターの上下で ON/OFF（または枚数）を設定する

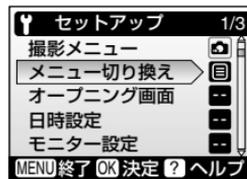
ON にすると、選択画像中央にマークが表示されます。ほかの画像にも設定したいときは、ステップ 1、2 の手順を繰り返してください。

3

プロテクト終了

OK を押す

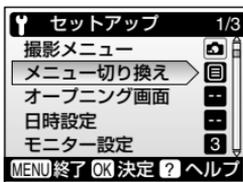
設定が有効になります。

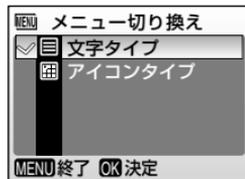
カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

メニューの表示方法や操作方法については、P.55 をご覧ください。
セットアップメニューには、以下の項目があります。

メニュー切り換え	メニューの表示形式を切り換えます。	P.61
オープニング画面	電源を ON にしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	P.61
日時設定	内蔵時計を合わせます。	P.61
モニター設定	画面の表示内容や明るさを設定します。	P.62
デート写し込み	画像に撮影日時を写し込む設定を行います。	P.63
操作音	操作音について設定します。	P.64
手ブレお知らせ	手ブレお知らせ画面の表示について設定します。	P.65
オートパワーオフ	待機状態に入るまでの時間を設定します。	P.65
メモリーの初期化／カードの初期化	内蔵メモリー／ SD カードを初期化します。	P.66
言語／ LANGUAGE	画面に表示される言語を設定します。	P.66
インターフェース	パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。	P.67
設定クリアー	各種設定を初期状態に戻します。	P.67
電池設定	使用する電池の種類を設定します。	P.67
バージョン情報	ファームウェアの情報を表示します。	P.67

セットアップメニューの初期設定：P.89

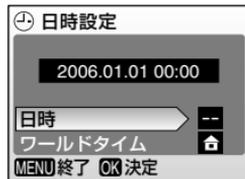
メニュー切り換え

メニューの表示スタイルを選べます。

文字タイプ

アイコンタイプ

オープニング画面

電源 ON 時の「オープニング画面」の設定を行います。「**撮影した画像**」を選ぶと、内蔵メモリーまたは SD カード内の画像を、オープニング画面として登録できます。登録した画像はカメラに記憶されるため、その画像を削除したり SD カードを入れかえたりしても、オープニング画面は変わりません。

日時設定

内蔵時計についての設定を行います。海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する）機能を使うこともできます。

日時	内蔵時計の日付と時刻を設定します。設定方法については P.5 ～ 6 をご覧ください。
ワールドタイム	海外旅行などに便利な機能です。訪問先のタイムゾーン（地域）を登録すると、自宅からの時差（P.93）を自動的に計算し、現地時間で撮影時刻を記録することができます。

時差のある地域で使うには

✈（訪問先）を選んで Ⓚ を押す

「訪問先」の現地時間が有効になります。撮影時の画面に ✈ マークが表示されます。訪問先のタイムゾーンを変更したいときは、マルチセレクターの右を押し、P.6 と同様の手順でタイムゾーン、夏時間の設定を行ってください。

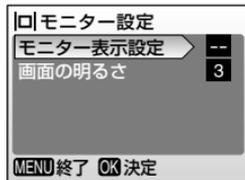
• 自宅のタイムゾーンに戻すには、⌂（自宅）マークを選んでください。

☑ 日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラに入れる電池とは別の時計用電池で動いています。カメラに電池を入れるか AC アダプターを接続すると、時計用電池が約 10 時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶することができます。

モニター設定

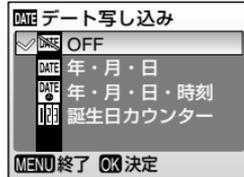
画面の表示内容や明るさを設定します。

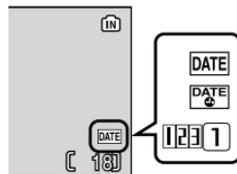
モニター表示設定	撮影・再生時の画面に表示される情報について設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを 5 段階で調節できます。

「モニター表示設定」について

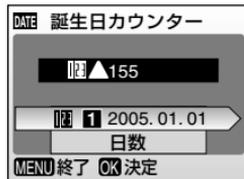
画面に表示される情報に関する設定を行います。表示内容については、P.xii をご覧ください。

	撮影時	再生時
情報 ON		
情報 OFF		

デート写し込み

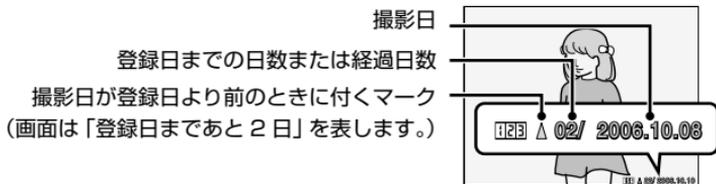
画像に直接日時を写し込みます。DPOF（P.93）に対応していないプリンターで日付入り画像をプリントしたいときなどに使用します。

年・月・日	左の形式で、撮影した画像の右下に、直接日時が写し込まれます。
年・月・日・時刻	左の形式で、撮影した画像の右下に、直接日時が写し込まれます。
誕生日カウンター	子供の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です。詳しくは下記をご覧ください。

デート写し込みの設定状況は、撮影時の画面で確認できます。

誕生日カウンターの使い方

特定の日付からの日数を画像に入れることができます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、子供が産まれた日からの経過日数を入れるなどの用途にお役立てください。

日付登録	1～3のいずれかを選んでマルチセレクターの右を押すと、日付設定画面が表示されます。P.6と同様の手順で日付を設定後、OKを押してください。日付は3種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3のいずれかを選んでOKを押してください。 日時登録 1 2006.01.01 2 2006.03.03 3 -------------- MENU終了 OK決定
表示選択	日付の表示形式を選んでOKを押してください。 表示選択 日数 年・日 年・月・日 MENU終了 OK決定

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

撮影日
登録日までの日数または経過日数
撮影日が登録日より前のときに付くマーク
（画面は「登録日まであと 2 日」を表します。）

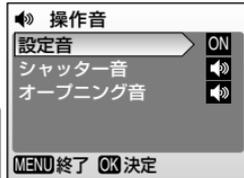
02/ 2006.10.08

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- 「**画像モード**」(P.69) が「**TV（640)**」の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらい場合があります。画像モードは「**パソコン (1024)**」以上に設定してください。
- 年月日の並びは、セットアップメニューの「**日時設定**」(P.61) での設定と同じになります。

「**デート写し込み**」と「**プリント指定**」の違い：P.54

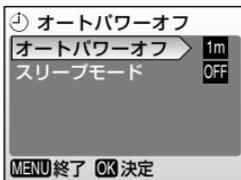
操作音

操作音について設定します。

設定音	設定音（電子音 1 回：設定完了時など）や警告音（電子音 3 回：禁止動作を行ったときなど）の ON/OFF を設定します。
シャッター音	シャッターをきったときの音量を、「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から選べます。
オープニング音	起動時のオープニング音の音量を「**大**」、「**標準**」、「**OFF**」から選べます。

手ブレお知らせ

画像の撮影後に、「手ブレお知らせ画面 (P.14)」を表示するかどうかを選べます。ここでの設定にかかわらず、手ブレお知らせ画面が表示されない場合があります (P.87)。

オートパワーオフ

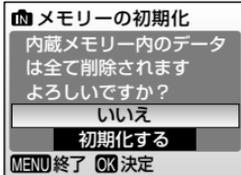
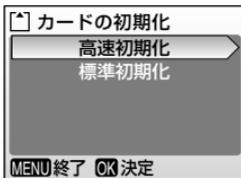
電源を ON にしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、電池の消耗を抑えるために液晶モニターが消灯し、待機状態 (P.9) に入ります。ここでは、待機状態に入るまでの時間を設定できます。待機状態に入ってから、何も操作しないでさらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

オートパワーオフ	無操作時に、待機状態に入るまでの時間を「**30 秒**」、「**1 分**」、「**5 分**」、「**30 分**」から選べます。
スリープモード	「**ON**」、「**OFF**」から選べます。「**ON**」にすると、被写体の明るさに変化がない状態が続くと、「**オートパワーオフ**」で設定した時間を待たずに、待機状態に入ります。「**オートパワーオフ**」が「**1 分**」以下のときは 30 秒、「**5 分**」以上のときは 1 分で待機状態に入ります。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合は、待機状態に入るまでの時間が決まっています。

- メニューの表示中：3 分
- スライドショーの再生中：30 分

メモリー／カードの初期化

内蔵メモリーまたは SD カードを初期化（フォーマット）します。初期化すると、メモリー内またはカード内のデータはすべて消えてしまうので、必要なデータは事前にパソコンなどに転送してください。

- 内蔵メモリー使用時は「**メモリーの初期化**」メニューが、SD カード使用時は「**カードの初期化**」メニューが表示されます。「カードの初期化」メニューでは、「**高速初期化**」（データが記録されている領域だけ初期化する）か「**標準初期化**」（カード全体を初期化する）を選んでください。

初期化についてのご注意

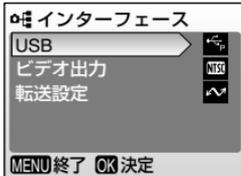
- 初期化中は、電源を OFF にしたり、電池や SD カードを取り出したりしないでください。
- 新品の SD カードをお使いになるときは、必ずカメラで「**標準初期化**」を行ってください。
- SD カードは、撮影と削除を繰り返すと処理能力が落ちてくるため、定期的にカメラで「**標準初期化**」を行うことをおすすめします。
- 電池残量が少ないときは、「**標準初期化**」はできません。

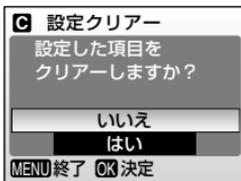
言語 / LANGUAGE

画面に表示される言語を、右の 12 種類から選べます。

インターフェース

パソコンやテレビとの接続に必要な設定を行います。

USB	パソコンやプリンターとの通信方式を「**Mass Storage**」と「**PTP**」から選べます。詳しくはP.46（パソコンとの接続時）、P.50（プリンターとの接続時）をご覧ください。
ビデオ出力	ビデオの出力方式を「**NTSC**」と「**PAL**」から選べます。詳しくは P.44 をご覧ください。
転送設定	「**ON**」、「**OFF**」から選べます。「**ON**」にすると、設定後に撮影するすべての画像に転送マーク（P.47）が付きます。

設定クリアー

「**はい**」を選ぶと、カメラの各種設定が初期状態にリセットされます。初期設定については、P.89 をご覧ください。

電池設定

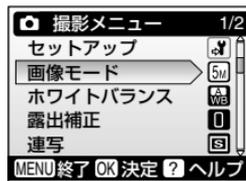
バッテリーチェック（P.9）を正しく機能させるために、使用する電池の種類に合わせて設定してください。

	対応する電池
アルカリ電池	アルカリ電池
COOLPIX（NiMH）	リチャージャブルバッテリー EN-MH1、オキシライド電池
リチウム（FR6/L91）	リチウム電池

バージョン情報 Ver.

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

撮影に関する設定—撮影メニュー

メニューの表示方法や操作方法については、P.55をご覧ください。
撮影メニューには、以下の項目があります。ここで設定する内容は「**画像モード**」を除き、 モードで撮影するときだけ有効になります。

セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.60
画像モード	記録時の画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。	P.69
WB **ホワイトバランス**※	画像が見た目に近い色で記録されるように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。	P.70
露出補正	明るい被写体、暗い被写体、コントラストの強い被写体に対して露出を補正します。	P.72
連写※	連写（連続撮影）するかどうかを設定します。	P.72
BSS BSS ※	ベストショットセレクター（最大 10 コマを連写し、最も鮮明な 1 コマをカメラが自動的に選んで記録する機能）について設定します。	P.73
ピクチャーカラー※	撮影する画像の色調について設定します。	P.73

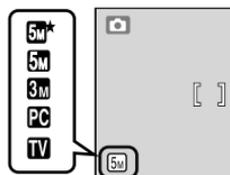
※ これらの機能は、他の機能と同時に設定できない場合があります。詳しくは P.91 をご覧ください。

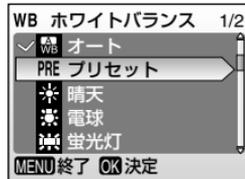
撮影メニューの初期設定：P.89

画像モード

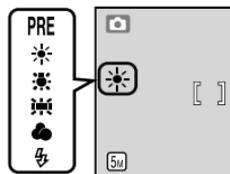
画像モード（画像の大きさと圧縮率の組み合わせ）を設定します。画像の用途や内蔵メモリー／ SD カードの残量に合わせて設定してください。以下の表で上にある画像モードほど、より精細な画像を大きくプリントすることができますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

画像モード	画像の大きさ（ピクセル）	内　容
高画質（2592★）	2592 × 1944	「**標準**」よりも精細な画像になります。圧縮率は約 1/4 です。
標準（2592）	2592 × 1944	ファイルサイズと画質のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像モードです。圧縮率は約 1/8 です。
エコノミー（2048）	2048 × 1536	「**標準**」よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約 1/8 です。
パソコン（1024）	1024 × 768	パソコンのモニターに表示するときに適しています。圧縮率は約 1/8 です。
TV（640）	640 × 480	電子メールへの添付や、テレビへの表示に適しています。圧縮率は約 1/8 です。

画像モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます。

1 枚の SD カードに記録できるコマ数：P.90

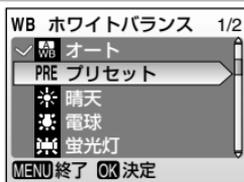
ホワイトバランス　WB

光源に合わせて、画像が見た目に近い色で撮影されるようにすることを「ホワイトバランスを合わせる」といいます。初期設定の「**オート**」でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせてホワイトバランスを変更してください。

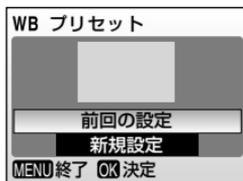
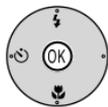
オート	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE **プリセット**	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは次ページをご覧ください。
晴天	晴天の屋外での撮影に適しています。
電球	白熱電球の下での撮影に適しています。
蛍光灯	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
曇天	曇り空の屋外での撮影に適しています。
フラッシュ	フラッシュを使って撮影する場合に適しています。

ホワイトバランスの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**オート**」のときは、何も表示されません）。

PRE プリセットホワイトバランス

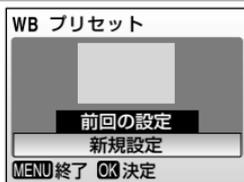
特殊な照明の下で撮影するときなど、「**オート**」や「**電球**」などの設定では望ましい結果が得られない場合に使用します（赤みがかった照明下で撮影した画像を、普通の照明下で撮影したように見せる場合など）。

1 撮影時に使う照明と、白またはグレーの被写体を用意する

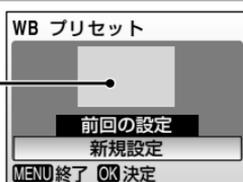
2

「ホワイトバランス」の設定画面で PRE **プリセット**を選ぶ

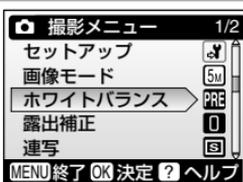
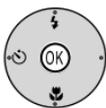
3

OK を押す

レンズが望遠側にズーミングします。

4

「新規設定」を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、「前回の設定」を選んで OK を押してください。ホワイトバランスが前回取得したプリセットデータに変更されます。

5

測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を写す

6

OK を押す

プリセットデータが取得され、ホワイトバランスが変更されます。

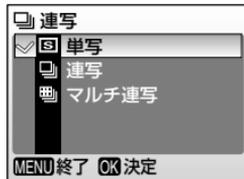
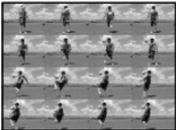
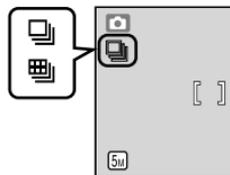
✔ プリセットホワイトバランスについてのご注意

プリセットデータ取得時には、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスを測定することはできません。

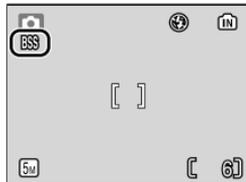
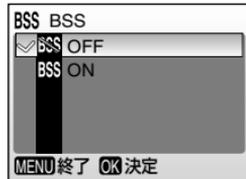
露出補正

カメラが決めた適正露出値を意図的に変えることを露出補正といいます。露出は、－ 2.0EV から＋ 2.0EV の範囲で補正できます。
露出補正を行うと、液晶モニターの背景画像に反映されます。

連写

連写（連続撮影）するための設定です。連写中のピントと露出、ホワイトバランスは、最初の 1 コマと同じ条件に固定されます。

S 単写	1 コマずつ撮影します。
連写	シャッターボタンを深く押し込んでいる間、最速約 1.7 コマ／秒で連写できます。（画像モードが 5M 標準（2592）の場合、連続で 13 コマ撮影できます。）
マルチ連写	シャッターボタンを 1 回深く押し込むと約 2 コマ／秒で 16 コマの連続写真を撮影し、右のような 1 コマの画像（画像サイズ 2592 × 1944）として記録します。

連写モードの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**単写**」のときは、何も表示されません）。

BSS

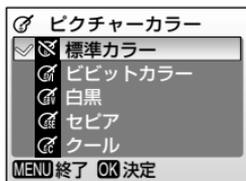
手ブレしやすい状況（暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど）での撮影に便利なBSS（ベストショットセレクター）機能について設定します。「**ON**」にすると、シャッターボタンを深く押し込んでいる間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

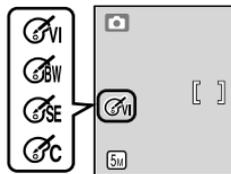
「**ON**」のときは、撮影時の画面に マークが表示されます。

BSSについてのご注意

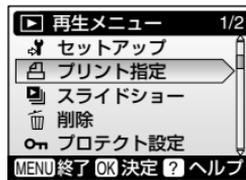
BSSは静止している被写体の撮影に効果的ですが、動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

ピクチャーカラー

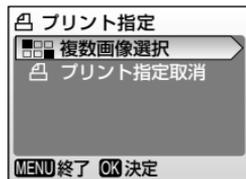
記録する画像の色調を変えます。

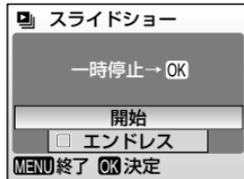
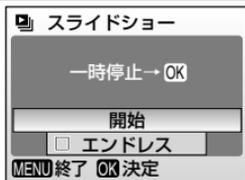
標準カラー	自然な色調になります。
ビビッドカラー	はっきりした色調になります。
白黒	モノクロになります。
セピア	セピア色になります。
クール	ブルー系のモノトーンになります。

ピクチャーカラーの設定状況は、撮影時の画面で確認できます（「**標準カラー**」のときは、何も表示されません）。また設定に応じて、画面の色調も変わります。

撮影に関する設定―撮影メニュー

再生に関する設定—再生メニュー

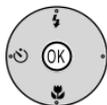
メニューの表示方法や操作方法については、P.55をご覧ください。
再生メニューには、以下の項目があります。

セットアップ	セットアップメニューを表示します。	P.60
プリント指定	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	P.53
スライドショー	内蔵メモリー／ SD カード内の画像を、1 コマずつ順番に自動再生します。	P.75
削除	画像を削除します。	P.76
プロテクト設定	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	P.76
転送マーク設定	撮影済みの画像に、パソコンに転送するための転送マークを付けます。	P.76
スモールピクチャー	撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。	P.77
画像コピー	内蔵メモリーと SD カードの間で画像をコピーします。	P.78

プリント指定

画像を DPOF（P.93）対応プリンターなどでプリントするための設定を、あらかじめカメラで行うことができます。詳しくは P.53 をご覧ください。

スライドショー

内蔵メモリー／ SD カードに記録されている画像を、1 コマずつ順番に自動的に連続再生します。約 3 秒間隔で、撮影した順番に再生します。

1

「スライドショー」の設定画面で、「開始」を選ぶ

繰り返し再生するには、「**開始**」を選ぶ前に「**エンドレス**」を選んで Ⓞ を押し、チェックボックスをオン ☑ にしてください。

2

Ⓞ を押す

スライドショーが始まります。

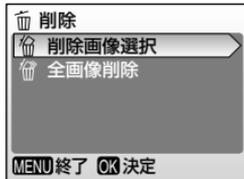
- スライドショーの再生中は、
  - ・マルチセレクターの右を押すと次の画像が、左を押すと前の画像が表示されます（押し続けると早送り／早戻しになります）。
  - ・Ⓞ を押すと一時停止します。
- スライドショー終了時や一時停止時には、左のように表示されます。「**終了**」を選ぶと再生メニューに戻り、「**再開**」を選ぶとスライドショーが再開されます。

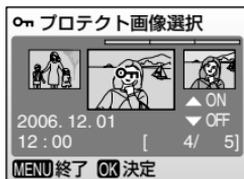
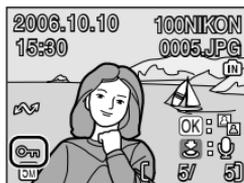
再生に関する設定―再生メニュー

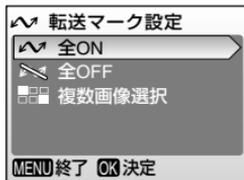
☑ スライドショーについてのご注意

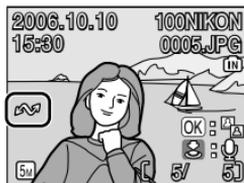
- 動画（P.37）は 1 フレーム目だけが表示されます。
- 「**エンドレス**」で再生していても、何も操作しないで約 30 分経過すると、待機状態（P.65）に入り、液晶モニターが消灯します。何も操作しないまま、さらに約 3 分経過すると、電源が OFF になります。

削除

画像を削除します。ただし、 マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）が設定されているため、削除できません。操作方法については、P.59をご覧ください。

プロテクト設定

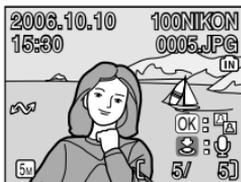
大切な画像を誤って削除してしまうことを防ぐために、画像にプロテクト（保護）を設定することができます。ただし、内蔵メモリー／ SD カードを初期化（フォーマット、P.66）すると、プロテクトを設定した画像も削除されるので、ご注意ください。操作方法については、P.59 をご覧ください。

プロテクト設定した画像には、再生時に マークが表示されます。

転送マーク設定

PictureProject（付属ソフトウェア）がインストールされたパソコンとカメラを USB ケーブル（付属）で接続したときに、画像をパソコンに自動で転送する機能です。初期設定ではすべての画像に転送マークが付きます（P.47）。

全 ON	撮影済みのすべての画像に転送マークを付けます。
全 OFF	撮影済みのすべての画像から転送マークを外します。
複数画像選択	画像選択画面（P.59）で、転送マークを付ける画像を選びます。

転送マークを付けた画像には、再生時に マークが表示されます。

スモールピクチャー

撮影した画像から、サイズの小さい画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは以下の3種類から選べます。

▣	640 × 480	テレビでの表示に適しています。
▣	320 × 240	ホームページでの使用に適しています。
▣	160 × 120	電子メールへの添付に適しています。

1

1 コマ再生モード (P.27) で、スモールピクチャーを作成したい画像を表示する

2

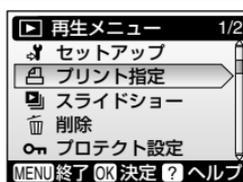
MENU を押す

再生メニューが表示されます。

3

スモールピクチャー
640×480
320×240
160×240
MENU 終了 OK 決定

スモールピクチャーを選んで ⓞ を押す

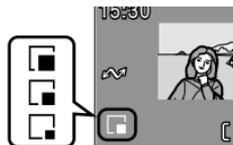
4

作成するスモールピクチャーのサイズを選んで ⓞ を押す

5

「はい」を選んで ⓞ を押す

スモールピクチャーが作成されます。

- スモールピクチャーは、元画像とは別の画像 (圧縮率約 1/16) として保存されます。

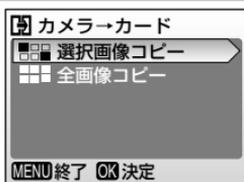
スモールピクチャーは、再生時にグレーの枠が付き、画像サイズを示すマーク (▣、▣、▣) が表示されます。

スモールピクチャーのファイル名：P.92
元画像とスモールピクチャーの関係：P.92

画像コピー

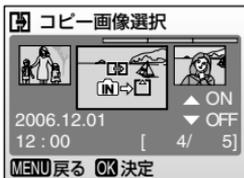
内蔵メモリーから SD カードに、または SD カードから内蔵メモリーに、画像をコピーすることができます。

「画像コピー」の設定画面でコピーの方向※を選んで ⓞⓚ を押す

※ IN→SD：内蔵メモリーから SD カードへ
SD→IN：SD カードから内蔵メモリーへ

2

コピーの方法を選んで ⓞⓚ を押す

「選択画像コピー」→ステップ 3 へ
「全画像コピー」→ステップ 5 へ

3

コピーしたい画像を選んでマルチセレクターの上を押す

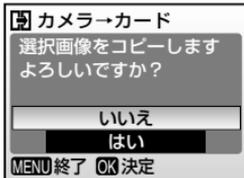
マルチセレクターの左右で画像を選び、上下で設定の ON/OFF を切り換えます。詳しい操作方法については P.59 をご覧ください。

4

カメラ→カード
選択画像をコピーします
よろしいですか？
いいえ
はい
MENU 終了 OK 決定

ⓞⓚ を押す

5

「はい」を選んで ⓞⓚ を押す

コピーが実行されます。キャンセルする場合は「いいえ」を選んで ⓞⓚ を押してください。

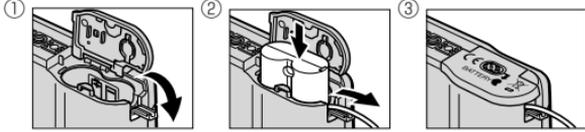
画像コピーについてのご注意

他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは、動作保証外です。

コピー画像のファイル名とフォルダ名：P.92
元画像とコピー画像の関係：P.92

別売アクセサリー

詳しくは販売店にお問い合わせください。

充電式バッテリー	Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1-B2（2 本入り）
充電器	バッテリーチャージャー MH-71※
AC アダプター	AC アダプターキット EH-65A※ ＜ EH-65A の取り付け方＞ ① ② ③ ご注意：AC アダプターキット EH-62B は使用できません。

※ 日本国内専用電源コード（AC100V 対応）付属。日本国外で使用する場合は、別売の電源コードが必要です。

推奨 SD カード一覧

以下の SD カードの動作を確認しています。

SanDisk 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/256MB※、512MB※、1GB※
東芝製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/128MB※、256MB※、512MB※
Panasonic 製	64MB、128MB、256MB、512MB、1GB/256MB※、512MB※、1GB※
Nikon 製	512MB※、1GB※

※ 10MB/s の高速タイプ

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。
最新の動作確認済み SD カードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

SD カードの取り扱い上のご注意

- SD カード以外のメモリーカードはお使いいただけません。
- 必ず COOLPIX L3 で「**標準初期化**」（P.66）をしてからお使いください。
- 初期化中や画像の記録・削除中、パソコンとの通信時などには、
  - ・カードの着脱をしないでください
  - ・電池を取り出さないでください
  - ・カメラの電源を OFF にしないでください
  - ・AC アダプターを外さないでください

  記録されているデータの破損やカードの故障の原因となります。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ	レンズのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れない場合は、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。
液晶モニター	ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。
カメラ本体	ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。 **ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。**

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、電池を取り出してください。
電池を取り出す前に、電源が OFF になっていることをご確認ください。

次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が 50℃以上、または － 10℃以下の場所
- 湿度が 60% を超える場所

取り扱い上のご注意

カメラについて

●強いショックを与えないでください

カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

●水に濡らさないでください

カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

●急激な温度変化を与えないでください

極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

●強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しない場合があります。

●長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は CCD の褪色・焼きつきを起こす恐れがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

●保管する際には

カメラを長期間お使いにならないときは、必ず電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安に電池を入れ、カメラを操作することをおすすめします。

●電池や AC アダプターを取り外すときは必ず電源を OFF にしてください

電源が ON の状態で、電池や AC アダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

●液晶モニターについて

- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくい場合があります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターの故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミ等が付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革等で軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

●スミアについて

明るい被写体を写すと、液晶モニター画像に縦に尾を引いたような（上下が帯状に白く明るくなる）現象が発生することがあります。この現象をスミア現象といい、故障ではありません。撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

電池について

●充電池は、撮影前に充電する

別売のリチャージャブルバッテリー EN-MH1 をお使いの際は、撮影前に充電してください。ご購入時にはフル充電されていないので、ご注意ください。

●使用上の注意

- 長時間お使いになった電池は、発熱していることがあるので、ご注意ください。
- 電池を取り出すときは、カメラの電源を OFF にして、電源ランプが消灯していることをご確認ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池はお使いにならないでください。
- 残量の無くなった電池をカメラに入れたまま、何度も電源の ON/OFF を繰り返さないでください。

●予備電池を用意する

撮影の際は予備の電池をご用意ください。特に海外では、地域によって電池の入手が困難な場合があるので、ご注意ください。

●低温時の電池について

電池の一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになる場合は、電池やカメラを冷やさないようにしてください。

●低温時には残量が充分な電池を使い、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池をお使いになると、カメラが作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池かフル充電した充電池を使い、保温した予備の電池を用意して温めながら交互にお使いください。低温下では一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池の接点について

電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなる場合があります。電池を入れる前に接点を乾いた布などで拭いてください。

●電池の残量について

電池の特性上、残量のなくなった電池をカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を示す（電池残量表示が表示されない）ことがありますので、ご注意ください。

●ニッケル水素電池について

- ニッケル水素電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果（一時的に電池容量が低下したような特性を示す現象）によって、電池残量表示が早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素電池は、お使いにならないときでも自然放電によって残量が減っていきます。お使いになる直前に充電することをおすすめします。

●リチャージャブルバッテリー EN-MH1 の充電について

EN-MH1 は、専用バッテリーチャージャー MH-71 で 2 本同時に充電してください。2 組以上の EN-MH1-B2 をお使いの場合は、残量の異なるバッテリーが混在しないようにしてください。

●リチャージャブルバッテリー EN-MH1 のリサイクルについて

充電を繰り返して劣化し使用できなくなったバッテリーは、再利用しますので廃棄しないでリサイクルにご協力ください。端子部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービスセンターやリサイクル協力店へご持参ください。

付録

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下の通りです。

表示	意味	対処法	ページ
(点滅)	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定する。	61
	電池残量が少なくなりました。	電池交換の準備をする。	—
電池残量がありません	電池残量がありません。	電池を交換する。	1 67
AF● (赤色点滅)	ピントを合わせることができません。	・ピントを合わせ直す。 ・フォーカスロック撮影を行う。	11
(点滅)	シャッタースピードが遅くなるため、手ブレのおそれがあります。	・フラッシュを使う。 ・三脚を使う。 ・安定した場所におく。 ・体にひじを付けて、両手でしっかりとカメラを固定する。	13 xi — 10
記録中 しばらくお待ちください	画像の記録中です。	記録が終了して警告表示が消灯するまで待つ。	—
カードがロック されています	SD カードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除する。	4
このカードは 使用できません	SD カードへのアクセス異常です。	・動作確認済みのカードを使う。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認する。 ・カードが正しく挿入されているか確認する。	79 3 3
カードに異常があります			
初期化されていません 初期化する いいえ	SD カードが、COOLPIX L3 用に初期化されていません。	「**初期化する**」を選んで OK を押し、SD カードを初期化する。	4
メモリー残量 がありません IN／	データを記録する空き容量がありません。	・画像モードを変更する。 ・不要な画像や音声データを削除する。 ・SD カードを交換する。 ・SD カードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使う。	17、69 28、37、41 3 3

表示	意味	対処法	ページ
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー／ SD カードを初期化する。	66
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	・SD カードを交換する。 ・内蔵メモリー／ SD カードを初期化する。	3 66
	編集できない画像を編集しようとしました。	トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件を確認する。	92
	オープニング画面に登録できない画像です。	スモールピクチャーやトリミングで作成した画像で、画像サイズが 320 × 240 以下のものは、登録できません。	—
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除する。	76
音声データがありません	内蔵メモリーまたは SD カードに、録音された音声データが入っていません。	を押して録音モードに切り換え、音声を録音する	38
動画記録できません	SD カードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速い SD カードに交換する。	79
撮影画像がありません	撮影済みの画像がありません。	—	—
このファイルは表示できません	パソコンや他社のカメラで作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	—
このファイルを再生できません			
表示可能な画像がありません	オープニング画面に登録できる画像がありません。	—	—
	スライドショーで表示できる画像がありません。	—	—
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除する。	76
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	—	61
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	8

表示	意味	対処法	ページ
通信エラー	パソコンやプリンターとの通信中に、USB ケーブルが外れました。	パソコンに警告メッセージが表示された場合、[OK] をクリックして PictureProject を終了する。カメラの電源を OFF にしてケーブルを再接続してから、もう一度転送する。	45
	お使いのパソコンの OS とカメラの USB 通信方式の組み合わせでは、転送できません。	セットアップメニューの「**インターフェース**」→「**USB**」の設定を確認する。	46
	PictureProject が起動していません。	—	—
転送マーキングされた画像がありません	転送マーク設定された画像がないのに、パソコンに画像を転送しようとしました。	転送マークを設定してから転送する。	47 76
転送エラー	画像転送中にエラーが発生しました。	カメラとパソコンの接続状況や電池残量を確認する。	9 45
システムエラー ⚠	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源を OFF にして電池を入れ直し、もう一度電源を ON にしてください。エラー表示が続く場合は、ニコンサービスセンターまでご連絡ください。	9
プリンターエラー プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	用紙切れなどエラーの原因を取り除いた後、「**継続**」を選んで OK を押し、プリントを再開する（エラー内容によっては、「**継続**」を選べない場合があります）。	—

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービスセンターにお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ページ
液晶モニターに何も映らない	・電源が入っていない。 ・電池残量がない。 ・待機状態になっている。→ シャッターボタンを半押しする ・フラッシュランプが点滅している。→ フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 ・カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されている。 ・AV ケーブルが接続されている。	8 9 9、11 13 45 44
液晶モニターがよく見えない	・液晶モニターの明るさを調整する。 ・液晶モニターが汚れている。	62 80
カメラの電源が突然切れる	・電池残量がない。 ・低温下ではカメラや電池が正常に動作しない場合があります。	9 82
SD カードの「**標準初期化**」ができない	電池残量が不足している。	9 66
撮影日時が正しく表示されない	・セットアップメニュー「**日時設定**」が正しく設定されていない（日時設定を行っていない場合（撮影時に時計マークが点滅している場合）は、撮影日時は「0000.00.00　00:00（静止画）」、「2006.01.01 00:00（動画）」と記録されます）。 ・内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くないので、定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	6 61
撮影情報や画像情報が表示されない	セットアップメニュー「**モニター設定**」の「**モニター表示設定**」が「**情報 OFF**」になっている。	62
「**デート写し込み**」が選べない	セットアップメニュー「**日時設定**」が設定されていない。	6 61
「**デート写し込み**」を有効にしたのに、日付が印字されない	以下の場合、日付は印字されません。 ・シーンモードの「パノラマアシスト」で撮影した画像 ・動画	 25 36
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ電池が切れたため、設定がリセットされました。	62

●デジタルカメラの特性について

きわめて希に、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源を OFF にして電池を入れ直し、もう一度電源を ON にしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたは SD カードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続く場合は、ニコンサービスセンターにお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ページ
撮影できない	・再生モードになっている。→ ▶ を押す ・メニューが表示されている。→ MENU を押す ・電池残量がない。 ・フラッシュランプが点滅している。→ フラッシュの充電中	27 55 9 13
ピントが合わない	・ピントが合いにくい被写体（明暗差がはっきりしない／遠くのものと近くのものが混在する／連続した繰り返しパターン／極端な輝度差がある／背景に対してメインの被写体が小さい／絵柄が細かい）を撮影している。→ フォーカスロックを利用して撮影する ・電源を入れ直す。	11 8
画像がぶれる	・フラッシュを使う。 ・BSS（ベストショットセレクター）を使う。 ・三脚などでカメラを安定させる（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	13 73 xi、15
手ブレお知らせ画面が表示されない	セルフタイマー撮影時、動画撮影時、シーンモードの（スポーツ）、（ミュージアム）、（打ち上げ花火）、（パノラマアシスト）のとき、撮影メニューの「**連写**」モードが「**連写**」か「**マルチ連写**」、または「**BSS**」が「**ON**」のときは、表示されません。	15 17 39 72 73
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいる。→ フラッシュモードを（発光禁止）にする	13
フラッシュが発光しない	・フラッシュモードが 発光禁止になっている。 ・フラッシュが発光しないシーンモードになっている。 ・モードになっている。 ・撮影メニュー「**連写**」モードが「**連写**」か「**マルチ連写**」、または「**BSS**」が「**ON**」になっている。	13 90 36 72、73
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	36
電子ズームが使えない	アシスト機能付きシーンモード、動画モード（撮影前）、撮影メニュー「**連写**」モードが「**マルチ連写**」のときは、電子ズームは使えません。	17 36 72
「**画像モード**」が選べない	撮影メニュー「**連写**」モードが「**マルチ連写**」のとき、シーンモード（スポーツ）の「**スポーツマルチ連写**」のときは、設定できません。	21 72
シャッター音が鳴らない	セットアップメニュー「**操作音**」→「**シャッター音**」が「**OFF**」になっている。	64
画像が鮮明でない	レンズが汚れている。	80
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていない。	70

こんなときは	考えられる原因や対処法	ページ
画像がザラつく	・被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO 感度が高くなっている。 → フラッシュを使う → ノイズ除去機能付きのシーンモードで撮影する	 13 19～24
画像が暗すぎる	・フラッシュモードが (発光禁止) になっている。 ・フラッシュが指などでさえぎられている。 ・被写体にフラッシュの光が届いていない。 ・露出補正値が低すぎる。 ・逆光で撮影している → シーンモードの「**逆光**」にするか、フラッシュモードを (強制発光) にする	13 10 13 72 13、24
画像が明るすぎる	露出を補正する	72

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	ページ
再生できない	パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、名前が変更された。	—
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	—
音声メモを録音できない	動画には音声メモを付けられません。	37
トリミング、D- ライティング、スモールピクチャーの作成ができない	・動画は編集できません。 ・トリミングや D- ライティング、スモールピクチャーが可能な条件をご確認ください。 ・COOLPIX L3 以外のカメラで撮影した画像に対するこれらの操作については、動作を保証しておりません。また、COOLPIX L3 で作成したこれらの画像を、COOLPIX L3 以外のカメラで再生した場合についても動作を保証しておりません。	37 92 —
画像がテレビに映らない	セットアップメニュー「**インターフェース**」の「**ビデオ出力**」が正しく設定されていない。	67
カメラをパソコンに接続しても、PictureProject が自動起動しない	・カメラの電源が OFF になっている。 ・電池残量がない。 ・USB ケーブルが正しく接続されていない。 ・セットアップメニュー「**インターフェース**」→「**USB**」が正しく設定されていない。 ・パソコンにカメラが正しく認識されていない。 PictureProject については、付属の PictureProject ソフトウェア使用説明書（CD-ROM）（銀色）をご参照ください。	8 9 45 46 —
転送マークを付けられない	1000 コマ以上に転送マークを付けることはできません。PictureProject の［転送］ボタンで転送してください。	46
転送マークを付けたのに、認識されない	COOLPIX L3 以外のカメラで転送設定した画像です。もう一度 COOLPIX L3 で転送設定を行ってください。	47 76

資料集

初期設定一覧 (P.60、68、74)

セットアップメニューの「**設定クリアー**」(P.67) で初期設定に戻る項目は、以下の通りです。

モードの撮影機能

フラッシュモード (P.13)	オート
セルフタイマー (P.15)	OFF
マクロモード (P.16)	OFF

セットアップメニュー

オープニング画面 (P.61)	アニメーション
モニター表示設定 (P.62)	情報 ON
画面の明るさ (P.62)	3
デート写し込み (P.63)	OFF
設定音 (P.64)	ON
シャッター音 (P.64)	標準
オープニング音 (P.64)	標準
手ブレお知らせ (P.65)	ON
オートパワーオフ (P.65)	1 分
スリープモード (P.65)	OFF
転送設定 (P.67)	ON
メニュー切り換え (P.61)	文字タイプ

シーンモード

シーンモード (P.17)	ポートレート
ポートレートモード (P.19)	顔認識 AF
風景モード (P.20)	風景
スポーツモード (P.21)	スポーツ
夜景ポートレートモード (P.21)	夜景ポートレート

撮影メニュー

画像モード (P.69)	標準 (2592)
ホワイトバランス (P.70)	オート
露出補正 (P.72)	0.0
連写 (P.72)	単写
BSS (P.73)	OFF
ピクチャーカラー (P.73)	標準カラー

動画メニュー

動画設定 (P.33)	カメラ再生 320
AF-MODE (P.35)	シングル AF

ダイレクトプリント関連

用紙設定 (P.51、52)	プリンターの設定

- 「**設定クリアー**」を行うと、ファイル番号の連番 (P.92) もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー／SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。ファイル名の連番を 0001 に戻したいときは、内蔵メモリー／SD カード内の画像をすべて削除 (P.76) してから、「**設定クリアー**」を行ってください。
- 以下の項目 (いずれもセットアップメニュー) は、「**設定クリアー**」を行っても初期設定には戻りません。
  ·「**日時設定**」(P.61)、「**誕生日カウンター**」の登録日 (P.63)、「**言語**」(P.66)、「**インターフェース**」(P.67) の「**USB**」と「**ビデオ出力**」、「**電池設定**」(P.67)

シーンモードの設定内容（P.17）

各シーンモードの初期設定と、設定を変更できる機能についてまとめました。[ ] で囲んだ項目は、設定を変更できません。いずれの項目も、電源を OFF にするか、モードセレクターを切り換えるか、再生モードに入るか、セットアップメニューの「**設定クリアー**」を行うことで、初期設定に戻ります。

	フラッシュモード（P.13）	マクロモード（P.16）	セルフタイマー（P.15）
ポートレート	赤目軽減	[OFF]	OFF
風景	[発光禁止] / AUTO ※	[OFF]	OFF
スポーツ	[発光禁止]	[OFF]	[OFF]
夜景ポートレート	[赤目軽減]	[OFF]	OFF
パーティー	赤目軽減	[OFF]	OFF
海・雪	AUTO	[OFF]	OFF
夕焼け	[発光禁止]	[OFF]	OFF
トワイライト	[発光禁止]	[OFF]	OFF
夜景	[発光禁止]	[OFF]	OFF
クローズアップ	AUTO	[ON]	OFF
ミュージアム	[発光禁止]	OFF	OFF
打ち上げ花火	[発光禁止]	[OFF]	[OFF]
モノクロコピー	発光禁止	OFF	OFF
逆光	[強制発光]	[OFF]	OFF
パノラマアシスト	[発光禁止]	[OFF]	[OFF]

※「**風景**」「**山**」「**建物**」では 発光禁止 に固定されます。「**左背景**」「**右背景**」では初期設定が AUTO で、変更も可能です。

画像モードと記録可能コマ数（P.8、69）

それぞれの画像モードで、内蔵メモリーや 256MB の SD カードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG 圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量の SD カードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なる場合があります。

画像モード	内蔵メモリー（約 23MB）	SD カード（256MB）	プリント時の大きさ（出力解像度 300dpi の場合）
5M★ 高画質（2592★）	9 コマ	約 98 コマ	約 22 × 16.5cm
5M 標準（2592）	18 コマ	約 192 コマ	約 22 × 16.5cm
3M エコノミー（2048）	29 コマ	約 302 コマ	約 17 × 13cm
PC パソコン（1024）	99 コマ	約 1028 コマ	約 9 × 7cm
TV TV（640）	213 コマ	約 2203 コマ	約 5 × 4cm

※ 記録可能コマ数が 10000 コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

動画設定と記録可能時間（P.33、36）

それぞれの動画設定で、内蔵メモリー（約 23MB）や 256MB の SD カードに記録できるおおよその撮影時間は以下のとおりです。SD カードの種類や撮影条件によって、数値は増減することがあります。

動画設定	内蔵メモリー（約 23MB）	SD カード（256MB）
TV 再生 640 ★	21 秒	約 3 分 39 秒
TV 再生 640	42 秒	約 7 分 15 秒
カメラ再生 320 ★	42 秒	約 7 分 15 秒
カメラ再生 320	1 分 22 秒	約 14 分 16 秒
長時間再生 160 ★	4 分 33 秒	約 47 分 8 秒

同時に設定できる機能の制限（P.68）

モードでは、以下のように、複数の機能を同時に設定できない場合があります。

フラッシュモード	「**連写**」モードを「**連写**」または「**マルチ連写**」にするか、「**BSS**」を「**ON**」にすると、フラッシュモードは に固定されます。 「**連写**」モードを「**単写**」に戻す、または「**BSS**」を「**OFF**」に戻すと、元のフラッシュモードに戻ります。
セルフタイマー	セルフタイマーを ON にすると、 ・「**連写**」モードは設定に関わらず、「**単写**」として動作します。 ・「**BSS**」は設定に関わらず、「**OFF**」として動作します。 セルフタイマーを OFF にする（またはセルフタイマー撮影が完了する）と、「**連写**」モードまたは「**BSS**」の設定が有効になります。
連写	「**連写**」モードを「**連写**」または「**マルチ連写**」にすると、「**BSS**」は「**OFF**」に変更されます。 「**連写**」モードを「**単写**」に戻しても、「**BSS**」は「**OFF**」のままです。
BSS	「**BSS**」を「**ON**」にすると、「**連写**」モードは「**単写**」に変更されます。 「**BSS**」を「**OFF**」に戻しても、「**連写**」モードは「**単写**」のままです。
ホワイトバランス	「**ピクチャーカラー**」を「**白黒**」「**セピア**」「**クール**」のいずれかにすると、「**ホワイトバランス**」は「**オート**」に固定されます。 「**ピクチャーカラー**」を「**標準カラー**」または「**ビビッドカラー**」に戻すと、元の「**ホワイトバランス**」の設定に戻ります。

ファイル名とフォルダー名

このカメラで撮影した静止画や動画、音声レコード、音声メモには、以下のようなファイル名が付けられます。

DSCN0001.JPG

識別子（カメラの画面には表示されません）：

加工されていない静止画、動画、音声レコード	DSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャーおよび付随する音声メモ	SSCN
D- ライティング画像および付随する音声メモ	FSCN

ファイル番号（0001 からの連番で付けられます）

拡張子（ファイルの種類を示します）：

静止画	.JPG
動画	.MOV
音声レコード／音声メモ	.WAV

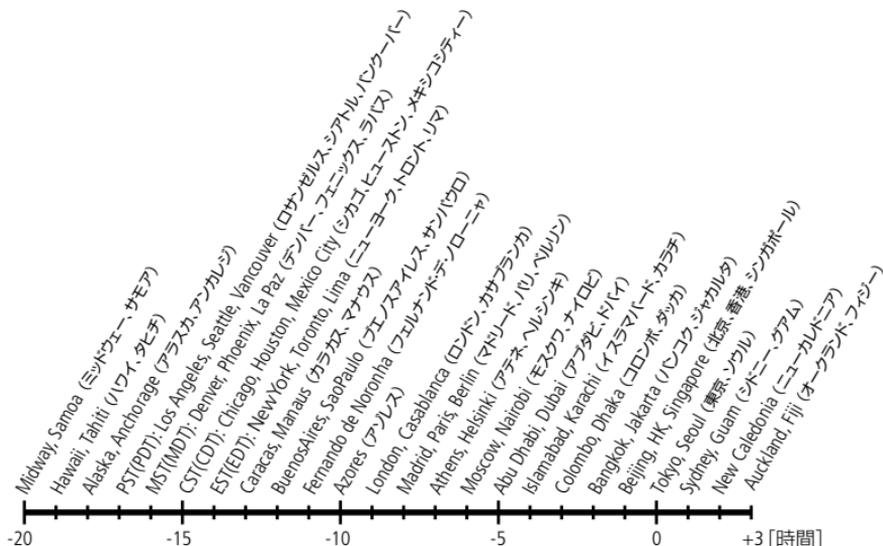
- ファイルが保存されるフォルダーは、「3 桁のフォルダー番号＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダー内のファイル数が 200 に達すると、新しいフォルダーが作られます（例：100NIKON → 101NIKON）。フォルダー内のファイル番号が 9999 に達した場合も新しいフォルダーが作られ、ファイル番号は 0001 に戻ります。
- パノラマアシストモード (P.25) では、撮影のたびに「3 桁のフォルダー番号＋ P_XXX」という名前のフォルダー（例：101P_001）が作られ、ファイル番号 0001 から始まる一連の画像が保存されます。
- データを内蔵メモリーと SD カードの間でコピーする場合 (P.78)、ファイル名は次のようになります。
  - ・「**選択画像（データ）コピー**」：使用中のフォルダー（または次回の撮影で使われるフォルダー）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよび SD カード内の最大ファイル番号＋ 1」からの連番で付けられます。
  - ・「**全画像（データ）コピー**」：データはフォルダーごとにコピーされます。フォルダー名は「コピー先の最大フォルダー番号＋ 1」から連番で付けられます。ファイル名は変わりません。
- フォルダー番号が 999 のときにファイル数が 200 個またはファイル番号が 9999 に達した場合は、それ以上撮影できません。SD カードを交換するか、内蔵メモリー／ SD カードを初期化 (P.66) してください。

画像編集の制限、元画像と編集画像の関係について

- 画像編集（トリミング：P.30、D- ライティング：P.31、スモールピクチャー：P.77）には、以下のような制限があります。
  - ・トリミングやスモールピクチャーで作成された画像に対して、再度トリミングを行うことやスモールピクチャーを作成することはできません。
  - ・D- ライティングで作成された画像に対して、再度 D- ライティングを行うことはできません。

- 画像編集によって作成された画像は、元画像から転送マークの設定だけを引き継ぎ、プリント指定とプロテクト設定は引き継ぎません。
- 画像コピー（P.78）でコピーした画像は、元画像のプロテクト設定だけを引き継ぎます。

タイムゾーンについて（P.6、61）

タイムゾーンと時差の関係は以下の通りです。1 時間未満の単位の時差がある場合は、「**日時設定**」で正確な時刻に合わせてください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system（DCF）：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録形式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。詳しくはプリンターの使用説明書をご参照ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

主な仕様

ニコン デジタルカメラ COOLPIX L3

項目		仕様
型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		5.1 メガピクセル
撮像素子		1/2.5 型原色 CCD、総画素数 5.25 メガピクセル
	画像モード	· 2592 × 1944［高画質（2592 ★）／標準（2592）］ · 2048 × 1536［エコノミー（2048）］ · 1024 × 768［パソコン（1024）］ · 640 × 480［TV（640）］
レンズ		光学 3 倍ズームニッコールレンズ
	焦点距離	f=6.3 ～ 19.2mm（35mm 判換算 38 ～ 116mm）
	絞り	F3.2 ～ F5.3
	レンズ構成	5 群 5 枚
電子ズーム		最大 4 倍（35mm 判換算で約 464mm 相当）
オートフォーカス		コントラスト検出方式
	撮影距離	· レンズ前約 30cm ～∞ · マクロモード時は約 10cm［ズームの広角側］～∞
	AF エリア	中央
液晶モニター		2 型 TFT 液晶、86,000 画素、輝度調節機能付き（5 段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約 97%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約 100%（対実画面）
記録形式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約 23MB）、SD カード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF 準拠
	ファイル形式	圧縮：JPEG-Baseline 準拠 動画：QuickTime 音声：WAV
露出		
	測光方式	マルチパターン測光、中央部重点測光
	露出制御	プログラムオート、露出補正（± 2 段の範囲で 1/3 段刻み）可能
	露出連動範囲（ISO 100 換算）	広角側：EV + 2.5 ～+ 16.0 望遠側：EV + 4.1 ～+ 17.5
シャッター		メカニカルシャッターと CCD 電子シャッターの併用
	シャッタースピード	4 ～ 1/1500 秒

絞り	電磁駆動による絞り開口選択方式
制御段数	2（F3.2、F6.4［広角側］）
ISO 感度	オート（ISO50 ～ 200 相当）
セルフタイマー	約 10 秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲	約 0.3 ～ 3.0m（広角側）、約 0.3 ～ 1.75m（望遠側）
調光方式	自動調光制御
インターフェース	USB
ビデオ出力	NTSC、PAL から選択可能
入出力端子	オーディオビデオ出力／デジタル端子（USB）
言語	ドイツ語、英語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語、ロシア語、スウェーデン語、日本語、簡体字中国語、繁体字中国語、韓国語の 12 言語
電源	・アルカリ電池、オキシライド電池、リチウム電池のいずれかを各 2 本（いずれも単 3 形） ・リチャージャブルバッテリー EN-MH1（ニッケル水素電池）2 本 ・AC アダプターキット EH-65A
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約 200 コマ（アルカリ電池使用時）、約 630 コマ（リチウム電池使用時）、約 330 コマ（EN-MH1 使用時）
寸法	約 91（W）× 60.5（H）× 26（D）mm
質量	約 120g（電池、SD カード除く）
動作環境	
温度	0 ～＋ 40℃
湿度	85%以下（結露しないこと）

※ CIPA 規格（電池寿命測定方法を定めたカメラ映像機器工業会の規格）によるものです。測定条件は、25℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でフラッシュ撮影、画像モード「標準」です。

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、リチャージャブルバッテリー EN-MH1 をフル充電で使用時のものです。

使用説明書について

- 使用説明書の誤りになどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

索引（**太字**はメニュー項目です）

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAX または郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

- ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。
- 修理に出されるときに、SD カードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後 5 年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービスセンターへお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービスセンターにお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社 Web サイトでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/index.htm

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:03-5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日：　年　月　日

お買い上げ日：　年　月　日

製品名：　シリアル番号：

フリガナ
お名前：

連絡先ご住所：□自宅　□会社

〒

TEL:

FAX:

ご使用のパソコンの機種名：

メモリー容量：　ハードディスクの空き容量：

OS のバージョン：　ご使用のインターフェースカード名：

その他接続している周辺機器名：

ご使用のアプリケーションソフト名：

ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：

問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度：
（おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通

☎ **0570-02-8000**

市内通話料金でご利用いただけます

営業時間 9:30～18:00（年末年始、夏期休暇等を除く毎日）
携帯電話、PHS等をご使用の場合は、**03-5977-7033** におかけください。
FAXでのご相談は、**03-5977-7499** におかけください。

音声によるご案内に従い、ご利用窓口の番号を入力してください。お問い合わせ窓口の担当者がご質問にお答えいたします。

ニコン宅配修理サービスのご案内

修理品梱包資材のお届けから修理品のお引き取り、修理後の製品のお届けまでのサービスは下　記をご利用ください。（有料サービス）

<ニコン宅配修理サービスお申し込み専用窓口>

0120 FreeDial ☎ **0120-868-545**

携帯電話やPHS等からのご利用はできません。
営業時間：9:30～17:30（土・日・祝日を除く毎日）年末年始、夏期休暇等、休業する場合があります。

なお、上記フリーダイヤルでは宅配修理サービス関連以外のご案内は行っておりません。

株式会社 ニコン
ニコンカメラ販売株式会社

Printed in Japan
YP5L01000201(10)
6MA15310--